日滿華興亞團體會合記錄

大日本興亞同盟



第一回日滿華興亞團體會合記念撮影

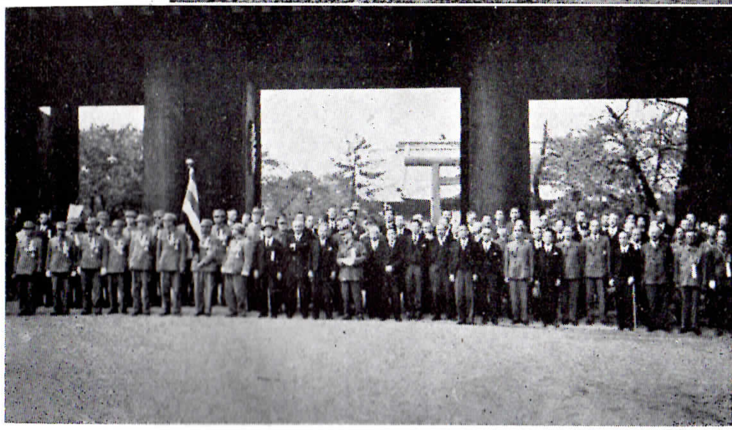
昭和十七年十月十三日　於大東亞會館正面玄關

―興亞の大業達成を祈る―

（上）宮城遙拜
（中）明治神宮參拜
（下）靖國神社參拜







興亞大會に於ける各代表

（上）大日本興亞同盟林總裁
（中右）滿洲國協和會張煥相氏
（中左）中華民國東亞聯盟中國總會林柏生氏
（下右）中華民國新民會黃復生氏
（下左）蒙古興亞協力會吉爾嘎朗氏







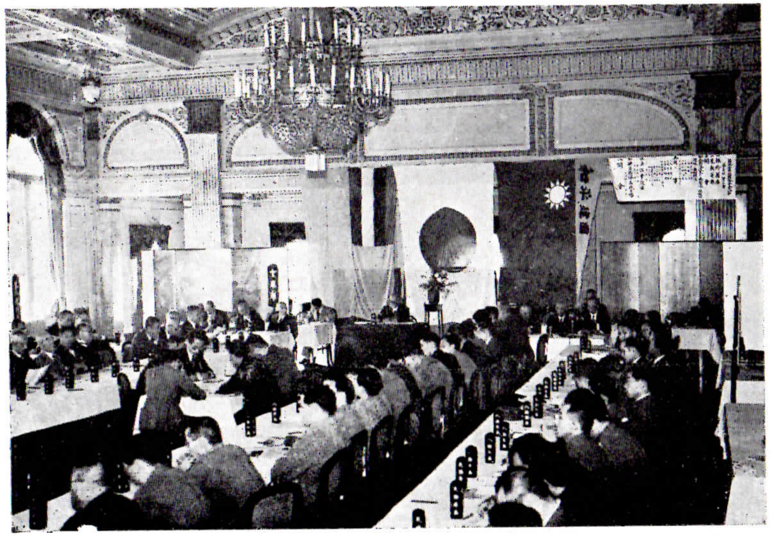




日滿華興亞團體會合記錄　目次



日滿華興亞團體會合披露會（十月十三日）於大東亞會館



興亞團體會合第一日目（十月十四日）於大東亞會館

第一日 經過記錄

十三日午前九時、滿洲國(協和會)中華民國(東亞聯盟・新民會)蒙疆(興亞協力會)各代表以下四五名、日本側川島義之大將外五十名、林本同盟總裁以下全職員は宮城前廣場に參集、本同盟錬成部長齋藤少將の號令にて恭々しく宮城遙拜記念撮影の後、明治神宮、靖國神社に參拜し、興亞大業達成の祀念を捧げ、後各團體代表者を二班に分ち一班は滿洲國參議張煥相、中華民國新民會黃復生、蒙古聯合自治政府參議吉爾嘎朗代表一行を以て午前十時本同盟古森理事案內にて首相官邸、海軍省、外務省(山本次官)情報局(奧村次長)興亞院(及川總務長官)陸軍省(木村次官)東京府、市、商工會議所(今村理事)翼贊會(後藤事務總長)等を歷訪の上興亞團體會合の挨拶を述べたり。又他の一班は本同盟運動四局次長等の案內により協和會(王子衡)東亞聯盟(林朝暉)新民會(周翕倍)蒙疆協力會(隈元孝道)一行を以て中外商業(村上社長)讀賣報知(正力社長)東京朝日(緒方主筆)東京日日(上原主筆)同盟通信(松本編輯局長)東京新聞(古澤編輯局長)の各社を歷訪挨拶を述べたり。

正午、會場大東亞會館食堂にて午餐會、**午後一時**より同會館三階會議場に於ける披露式に臨む。會合次第次の如し。

(一)、振鈴 着席 (二)、三國々歌奏樂 總員起立 (三)、開會の辭(匝瑳委員長)(四)、本同盟林總裁挨拶 (五)祝辭 外務大臣 谷正之、大政翼贊會副總裁 安藤紀三郎、興亞院總務長官 及川源七、情報局總裁代理 奧村喜和男、東京府知事 松村光磨、東京市長 岸本綾夫、東京商工會議所會頭 藤山愛一郎、日本新聞協會々長 田中都吉 (六)、祝電 滿洲帝國協和會々長 張景惠、中華民國東亞聯盟中國總會々長 汪精衞、中華民國新民會々長 王揖唐、蒙古興亞協力會々長 吳鶴齡 (七)、各國體代表挨拶 協和會代表 張煥相、東亞聯盟代表 林柏生、新民會代表 黃復生、興亞協力會代表 吉爾嘎朗 (八)、興亞團體萬歲三唱(本同盟林總裁發聲)(九)、閉會(匝瑳委員長)以上を以て第一日の會合を終了、一同會場正面玄關にて記念撮影をなす。**午後五時**上野精養軒に座長の招宴あり、總裁の挨拶、協和會張煥相來賓を代表して謝辭を述べ一同興亞運動に挺身を誓ひて乾盃、和氣靄々裡に歡談に耽りて午後八時半散會せり。

日滿華興亞團體會合記錄

總裁挨拶

大日本興亞同盟總裁　林銑十郎

今回我が興亞同盟に於て日滿華興亞團體の會合を催しましたる所、閣下並に各位におかせられては遠路遙々御來會下され、又御參會の閣下各位は御繁用中枉げて御出席下されましたことは感謝に堪えません。主催者たる大日本興亞同盟を代表致しまして衷心より御禮を申上ます。

大日本興亞同盟は從來皇國内に於ける六十有餘の興亞團體を打って一丸となし國民の總力を結集して一層興亞運動を活潑に展開せんとする目的の下に組織せられたものでありますが、今回其の披露を兼ね今後に於ける興亞運動の具體的展開に關し興亞の大業に挺身する三國の精鋭が一堂に會合して相互に胸襟を披き興亞理念と興亞運動の徹底化に關して懇談を遂げることは今回が始めてゞあると存じます。洵にこの度の會合こそは歴史的意義を有するものと信ずるのであります。

御承知の如く現下の大東亞戰爭は米英勢力を東亞より驅逐して大東亞共榮圏を建設するが爲の聖戰であります。而して大東亞共榮圏を建設する爲には先づ日滿華が强力なる中核體となつて大東亞戰爭を勝ち拔かなければなりません。これが爲には日滿華三國に於て興亞に邁進するものが同一の指導理念に結ばれなければなりません。換言すれば日滿華三國が其の理念を大東亞の興隆に歸一せしむることであります。

今日、日滿の關係が一德一心であり、日華の關係が同甘共苦であり相共に興亞の大業に邁進せんとしてゐることは眞に心强き次第でありますが、更に三國々民が興亞の大業に對する充分なる理解を持ち、其の主旨のある所に徹底し大東亞建設に燃ゆるが如き意志を發揮して政府の施策に響應するの運動を展開せば、大業完遂の上に多大の實效を收め得ることは疑を容れざる所であります。

抑も大東亞の安定を確保し世界の平和に貢献せんとするは我が肇國の理想でありまして正に皇國不動の國是であります。これが爲めには地理的にも歴史的にも將た又經濟的にも最も密接なる關係にある日滿華三國が相協力して共存共榮の實を擧げることが先決要件であります。只今世界の大勢を見ますと世界史的大變革によりまして主我的偏狹なる自由、獨立、平等の觀念に執着して來た國家觀は既に清算されて世界は幾つかの廣域圏に再組織されつゝあるのであります。現に歐洲に於ても獨伊は吾人と同樣の精神を以て歐洲の建設に努力してゐるのであります。而かも亞歐の共榮圏は相互に緊密なる關係の下に

之を集大成して初めて人類共榮の世界新秩序を建設し得ると考へるのであります。從來强大國家が弱小國家を搾取する帝國主義も、又國家が形式的平等の立場に立つのみにて聯合せんとする所謂民族自決主義も共に新時代に適合せざる政治理論に過ぎないのでありまして、萬邦が其所を得兆民が其の堵に安んずる家族的共榮圏こそ世界新秩序の基調であり興亞理念でもあるのであります。

今や皇軍は御稜威の下既に西太平洋印度洋より完全に敵勢力を驅逐し尙ほ逐次其の戰果を擴大して大東亞圏內の全軍事據點を確保して磐石、不敗の態勢を完成しつゝあるのであります。又南方諸地域に於ては地方住民の協力に依つて着々建設事業が進行しつゝあるのでありまして眞に意を强くする所であります。

皇國はいよいよ必勝の信念を固くし如何なる困難も堪え忍び以て皇國の光榮を全うすると共に大東亞共榮圏を完成せんことを固く期してゐるのであります。

今や大東亞戰爭も本格的段階に進み、敗戰に敗戰を重ねて來た米英兩國も最後の足掻きを示し尨大なる軍備の增强を計り對日攻勢を企てつゝあるやに聞くのでありますが、我に待つあるの備へあれば決して惧るゝに足らないのであります。こゝに日滿華三國は愈々緊密に提携協力して啻に大東亞を防衛するのみならず更に進んで世界平和の敵たる米英勢力の打倒に積極的攻勢を展開しなければなりませぬ。

こゝに本會合を機會に三國同志の懇談を遂げ眞に興亞大業の達成に同志的意識を燃し生死を共にする

の結束を固められんことを心から念願する次第であります。

一言以て歡迎の辭に代へ所信を披瀝して各位の御協力を望んで止みませぬ。

祝辭

外務大臣　谷正之

本日茲に大日本興亞同盟主催の下に協和會、東亞聯盟、新民會及蒙疆の各興亞團體の代表者が此の精氣溢るる一堂に相會し興亞運動の具體的展開に關し胸襟を開いて眞摯なる懇談を遂げらるることと相成りましたのは洵に慶賀に堪へない所であります。

日滿華三國は嚢に共同宣言を發表し、三國相互に其の本然の特質を尊重し、東亞に於て道義に基く新秩序を建設するの共同の理想の下に善隣として緊密に相提携し、以て恒久的平和の樞軸を形成し、之を核心として世界全般の平和に貢献せんことを約したのでありますが、昨年十二月八日大東亞戰爭勃發致しまするや、興亞の熱意は更に一層の拍車を掛けられ東亞を興せ、東亞を保衞せよ、といふ雄叫びが各國民の間に澎湃として湧上り、過去百有餘年に亙り吾等東亞民族に對し凡有る迫害、重壓、搾取等を敢て爲したる宿敵、米英を擊滅し了る迄は同甘共苦、斷じて東亞解放の鋒を收めざるべきを固く誓つて居

るのであります。

日滿華三國は斯くの如き共通の理念の下に東亞の復興なる共同の使命に向つて、戰爭に、或は建設に、國家の總力を擧げて協力致して居るのでありますが、玆に御集りの各位は東亞軸心諸國の興亞團體の中樞指導者でありまして、夫々關係團體を統裁しつつ各政府と表裏一體となり、或は國內體制の革新に、或は國家再建の中核となるべき興亞青少年の訓錬に、其の他色々の革新運動の爲に先陣を切つて挺身して居らるる方々であります。各位の代表せらるる團體は或は興亞同盟と云ひ、協和會と云ひ、或は新民會、又は東亞聯盟と云ひ其の名稱に差こそあれ興亞の理念に至つては完全に一致して居るものでありますから、私は今回の此の有意義なる會合に於て、各位が大東亞精神に則り隔意なき懇談を遂げられんことを希望致しますと共に、本會合を契機として興亞諸團體の結合は更に一段と強化せられ、興亞運動は玆に飛躍的巨歩を踏み出すべきを確信するものであります。

甚だ簡單ではありますが、一言所懷を述べまして祝辭に代へる次第であります。（太田東亞局第一課長代讀）

大政翼贊會副總裁

安藤紀三郎

此の度日滿華三國の興亞團體を代表せらるる諸君がお集りに成り、三國共同宣言の具體化、及興亞運動の徹底化を圖らんが爲に懇談會をお開きに成り、今日玆に其の開會式が擧行せらるるに當りまして、私は先づ最初に、大東亞戰爭遂行の途上に於て、滿華兩國の帝國に對する心からなる御協力に對し、深き感謝の意を表するものであります。

抑々帝國が、獨伊等盟邦諸國と相携へて米英を屈服せしめ、萬邦をして各々其の所を得しめ、兆民をして悉く其の堵に安んぜしめ給ふ　大御心を體して、大東亞の新秩序を、更に進んで世界の新秩序を、建設せんとするは大東亞戰爭の根本の目標であります。

今や帝國は、國家の全力を擧げて此の大目標に向つて一路邁進して居るのであります。

而して帝國は、御稜威の下、皇軍將兵の善謀勇戰と銃後國民の總力發揮に依りまして、作戰に又建設に、着々として逞しき前進を續けて居るのであります。素より米英を破摧せずんば已まざる此の大戰爭は、決して生易しいものでは無いのであります。人類史上未だ曾て見られない最大の戰爭であるのであります。而して帝國は、緒戰に於て獲得せる戰略的優位を基礎とし、必勝必成の固き信念の下に飽く迄

も此の大戰爭を戰ひ拔き、勝ち拔かんとして居るのであります。

今や我が勝利の基礎は嚴として備はつて居るのであります。而して此の勝利の素地は同志國の温かき親和と、動かざる相互の信頼に依つて彌が上にも確實不動のものと成るものと私は信じて疑はないのであります。

此の見地に於きまして、私は御參集の皆樣の御協議、御懇談の重點を帝國の大東亞戰爭完遂の努力に對する盟邦諸國の協力をして、如何にして最も剴切有效ならしむるかと謂ふ點に置き、日滿華三國が今後愈々其の結束を强化し、以て大東亞諸民族總進軍の中核たるの實を發揮して戴き度いと思ふのであります。

茲に聊か所懷を述べて祝辭と致す次第であります。

興亞院總務長官　**及川源七**

本日茲に日滿華三國の興亞運動團體一堂に相會して東亞の結盟を愈々堅くするの歷史的會合に臨み一言祝辭を述ぶるの機會を得たるは余の最も欣幸とする所なり。

惟ふに米英の大東亞百年侵略の歷史を覆滅して大東亞共榮圈を確立し進んで世界全般の平和に貢獻す

るは皇國不動の國是にして日滿華共同宣言の又之を明示する所なり。

然して大東亞の現狀を直視するとき米英の擊滅こそ、東亞の軸心を形成する日滿華三國の精神的物質的力量の一切を擧げて集中すべき最緊要事にして、日滿華共同宣言の精神も亦重點を當然此處に置かるべく之が理想の實現も實に米英追放戰完遂の曉に於て初めて完きを得ん。

斯るゝ重大な時期に當り、我國に於ては一億國民の興亞の理念を統一して大東亞建設の目標を一にするため、大日本興亞同盟結成せらる。即ち、本同盟に依り日滿華三國の國民をして共同の理想に共通の運命を確然と認識せしめ以て之を實踐に總動員せしむるを得ば、その意義誠に深しといふべし。

希くは此の機に於て眞に同志的提携を愈々緊密にし益々活潑なる運動を展開し以て大東亞新秩序の建設に寄與せられんことを。

情報局次長　**奧村喜和男**

大東亞戰爭が勃發致しましてから正に十ケ月、大東亞の建設着々と進行しつゝありまするこの時、日滿華三國の興亞團體が一堂に會せられまして興亞運動の積極的展開に關し、具體的懇談を行ふ記念すべき會合が催されましたことを洵に意義深く存ずる者であります。私も亦、お招きに預りこの壇上より一

席の御挨拶を申上げますることを深く光榮に存ずる者であります。

日本はいま國を擧げて大東亞戰爭完遂へ邁進致して居ります。われ〲の宿敵であり、また東亞の禍根であり、世界の公敵でありまする米英の勢力を大東亞の天地より覆滅芟除して、アジアの理想に基くアジアの新秩序が完成するまで、この大東亞戰爭は戰ひ拔き、勝ち拔かなければならぬのであります。この戰爭によりまして東亞侵略の米英の歷史が淸算せられ、この戰爭を楔機として眞に希望と平和に滿ちたる、新しきアジアの歷史が誕生するとわれ〲は確信する者であります。

われ〲はこの米英侵略勢力を東亞の天地より驅逐し、米英的功利主義思想を東亞人から淸算し、東亞本然の道義的精神を基調として、アジア人によるアジアの歷史を創造し、展開せんとするものであります。それは正にアジア人によるアジアの歷史の創造であるのみならず、世界の歷史、世界の秩序がアジア的理念によつて更生し、充實し、力强く再出發すべき轉機であると存ずる者であります。大東亞戰爭は斯の如くにして歐洲の天地における獨伊の敢闘と相俟ちまして、正に世界歷史轉換の變革戰なりと、これ亦確信する次第であります。われ〲はこの意味における世界史創造の聖業を曾ては滿洲事變において遂行し、支那事變において顯現したのであります。

更に嚴密に申しまするならば日淸、日露の兩役も、米英的勢力に對する皇道宣布の戰ひであつたのであります。何れの戰爭も眞の敵は正に米英的侵略勢力であり、その基調をなせる唯物的功利主義的帝國

主義であつたのであります。大東亞戰爭はこれらの米英支配を大東亞より驅逐する最後の決戰であるのであります。米英はこれを生存に關する戰爭、即ち生存戰爭と呼んで、自由主義を擁護する最後の一戰なりと呼號し、その總力を傾倒しつゝあることは、米英としては正に當然かも知れません。米英の觀念的自由原則の思想謀略によりまして、その思惟の自由を奪はれ、その物資を搾取せられ、その政治的獨立をすら脅威されましたわれ〲アジア十億の住民が、今や米英の侵略的自由原則に袂別し、または袂別せんとして最後の努力を傾けつゝあることは、正に世界史の壯觀なりと存ずる者であります。われわれはこの米英擊滅の戰ひに積極的に參加協力することによりまして、米英のアジア支配の據點を奪ひ返へし、米英思想による一切の汚辱を禊によつて一掃して、何よりもアジア精神と東亞の理想を奪還し、且つ顯現しなければならぬと存ずるのであります。またこの共同の戰ひによりまして苦しみを共にし、盟を共にし、またその運命を共に致しまするならば、これによつてこそ、初めてアジアは一なりとのわれ〲の先覺の信念をその儘實踐し得ると確信する者であります。

同一の東亞理念の下に共同の戰ひを戰ひ拔く時に、われ〲相互の信賴と協力は愈々絶對的のものとなり、その秋こそ、アジアは眞に一體となるのであります。われ〲は今こそ米英の侵略的自由原則、即ち歷史的傳統を無視し、地理的環境を無視し、且つ又深刻强靱なる血緣關係までもこれを無視して、觀念的自由と平等とを說き、しかも飽くまで米英的侵略の自由と、搾取の優越的地位とを確保するに遏

ぎざるその米英の思想謀略を完全に克服し、清算しなければなりません。アジア本然の理念に立脚し、歴史はこれを尊重し、血縁はこれを紐帯とし、その特性と、その能力とに應じて共榮圏建設の世界史的任務を分擔するこそ、現下アジア民族日、滿、華の絶對條件なりと私は確信するのであります。

惟ふに日滿華三國は大東亞共榮圏建設の基礎樞軸であります。根本的なるところの根幹であります。われ／＼は大東亞十億の民に各々その所を得しめ、更に相携へて世界の維新戰に指導的役割を演ずべく、その相互的信頼と協力關係を飛躍的に强化致さなければならぬ段階に臨んでゐるのであります。これがためには三國は同一の世界觀の下に、その認識とその決意とを同じくすることと、更にその認識と決意とを具體的實踐組織に組立てゝ行く興亞諸團體の連繫を强化すること、この二つは基本的要件であるのであります。

今回新しく、力强く誕生發足致しましたる大日本興亞同盟の御主催にかゝる本會合は、眞に時局の絶對的要請なりと確信する者でありまして、私は本會合を契機として三國の信頼いよ／＼强く、三國の協力ます／＼緊密を加へ、同一の理念の下に同一の決意を深めて、共同の運命を打開すべく各々その分に應じて全力を傾倒し、輝ける、榮光ある大東亞の建設が力强く完遂されんことを確信し、且つ又祈る者であります。これを以て私の祝辭と致します。

東京府知事　松村光磨

今次の聖戰は八紘爲宇の大理想に基く曠古の大事業でありまして、多年東洋に其の野望を逞しくした米英兩國を打倒し、東洋の諸民族をして其の桎梏より解放し、各々其の處を得しめ以て共存共榮の實を擧ぐるに在るのであります。

日、滿、華、蒙は同文同種、固より唇齒の關係に在りまして、當然相提携して東亞に於ける樞軸中核として大東亞共榮圏の基礎を確立し、道義的新秩序を建設し、世界の恒久的平和を招來すべきものと存じます。

此の秋に方り、大日本興亞同盟は日、滿、華、蒙興亞團體の代表を帝都に糾合して大東亞共榮圏建設に即應する一大運動を展開せられたことは洵に機宜を得たる事でありまして、衷心慶賀に堪へざる所であります。

會同の諸賢、何卒愼重議を練られ、克く意思の疏通を圖り、相携へて興亞大業を翼賛するといふ鐵石の理念を確立し、之を各其の國民に洽く認識せしめ、相率ゐて大東亞の核心となり、善隣修好、共同防共、經濟提携、文化交流に寄與せられ、大東亞共榮圏確立をして深く速かならしめらるゝ樣一言期待す

る所を陳べて祝辭と致します。

東京市長　岸本綾夫

輝しき日滿華興亞團體の綜合的發足に當りまして一言御祝辭を申上げます。

大東亞戰爭勃發以來、諸戰の戰果が益々擴大せられ、今や大陸に大洋に到るところ日章旗が翩翻と飜つて居るのであります。そして南方諸國の各民族が日本語を以て聲高らかに君ケ代を奉唱し、愛國行進曲を合唱して感謝の意を表して居る朗らかな現地風景であります。所謂皇澤南國に洽しといふ洵に感激に堪へない皇軍の赫々たる大戰果と申さねばなりません。

斯る際に、日滿華三國の興亞團體主唱の下に北支蒙疆からも參加せられ、東亞に於ける興亞諸團體の全面的會合が本日を以て我が東京市に於て開催せられますことは頗る光榮且欣快に存する處であります。そして曩に中外に宣明せられた日、滿、華共同宣言の趣旨に基き、これが實現とその強化に就て隔意なき御意見を交換せられ、愈々綜合的運動を開始せられますのは洵に意義深きものがあるので御座います。

本日は正にその光輝ある民族的大行進の記念すべき鹿島立　日であります。私は衷心からその發足に

對し慶祝の意を表すると同時に圓滿なる發達と華々しい成果とを收められんことを希望申上ぐる次第であります。

抑も今次の大東亞戰爭の原因を遡つて考へますれば、支那事變に端を發して居ると申して差支へないのであります。又支那事變は更に滿洲事變にその端を發して居るのであります。

即ち滿洲國の建設は、興亞運動の第一陣を承つた輝しい收穫でありますと同樣に、中華民國國民政府の南京還都は、その建設的第二陣を物語るものであります。而して北支の安定も、蒙疆の保衞も、總てこれ興亞運動の當然進むべき輝しき過程であります。この意味に於きまして今回の會合は實に東亞の全面的興隆と、民族的發展を誓ふ力強き國民的總進軍であると申さなければなりません。之と同時に大東亞戰爭の軍事的進軍と相呼應して米英百年の牙城を根柢から紛碎し、東亞をして其の本然の姿に還らしめる最も強力なる民族的堅陣の結成であります。

申し述ぶる迄もなく日、滿、華三國は、その共同宣言に於て既に確乎不拔の聯繫を誓ひ、强靱なる紐帶を形成して居るのであります。然しながらこれを各民族の間に徹底せしめ、興亞の道義的精神を昂揚し、その成果を擧ぐる爲には單に國家と國家の締盟にのみ依存致しましては完璧を期することが甚だ難事であると考へるのであります。是非共これは國民と國民とが確つかりと手を握り、力を協せ、互に歩調を整へて、堂々と行進しなければ到底所期の目的を達成することは出來ないと存ずるのであります。

本日この會場に於て主催國日本を初めと致しまして滿洲國、中華民國、更に北支、蒙疆の遠隔の地から特に權威ある團體の代表者の方々が參集せられ、國境を撤して歡談せられる、極めて和やかな興亞氣分の溢るゝ會合に接しまして私は洵に力强さと、こみ揚げる感激に打たれるものであります。

何卒充分、御協議下さいまして十分なる成果を收められんことを衷心御希望申上げ私の祝辭と致す次第であります。

東京商工會議所會頭　藤山愛一郎

本日茲に大日本興亞同盟主催の下に大東亞建設の强力なる民族運動の展開を目指し、日滿華の興亞國體代表者各位の御參集を得、日滿華興亞團體會合を開催せらるるに當り一言祝辭を申述ぶる機會を得ましたことは私の欣幸とする所であります。

顧みますれば日滿華共同宣言が發せられてより既に二年、其の間日滿華三國は相携へて大東亞新秩序の建設に邁進して參りましたことは今更申上げる迄もない所であります。

然るに今や大東亞戰爭の勃發を見、時局彌々重大を加へつつありまする秋、三國の興亞團體代表者各位が一堂に相會し、「日滿華共同宣言具體化のための運動方策並に興亞運動徹底化」に對する組織の研究

の二項目につき隔意なき懇談を遂げらるることは極めて有意義なるものと信ずる次第であります。

希くは各位に於かれても夫々の立場より大東亞興隆の共同目標に向つて充分に御意見を交換せられ、興亞理念の結集を圖ると共に今後に於ける興亞運動の具體的展開に邁進せられんことを望む次第であります。

本日この盛大なる日滿華興亞團體會合の披露式に臨み、大東亞諸民族の輝しき發展を祈念し以て祝辭と致す次第であります。

日本新聞會々長　田中都吉

世界戰史にその類例を見ざる赫々たる大戰果を擧げつゝある大東亞戰爭遂行の途上に於て、東亞の新秩序建設と恒久的平和の確保とを共通の使命とする日滿華興亞團體の有力なる各代表諸氏一堂に相會し、日滿華三國共同宣言の趣旨に基き、興亞の指導理念と興亞運動徹底化に就き愼重熟議を遂げらるるは實に歷史的意義を有する一大壯擧にして、大東亞共榮圏確立の爲め慶賀に堪へざる所であります。

惟ふに新東亞建設の樞軸にして、興亞運動推進の中核たる盟邦三國の有力なる各運動團體が相提携して一心一德の關係に立ち、同甘共苦の下相互に本然の特質を尊重して緊密なる活動の新展開を試みらる

ることは、啻に米英の殘存勢力を東亞の天地より驅逐し、道義的新秩序の確立の爲に貢献するに止まらず、進んで世界永遠の平和に貢献する處蓋し尠少ならざるを確信して疑はぬところでありまして、大東亞民族の總力を結集し、相共に勇往邁進せんか東亞防衛と戰爭必勝は期して待つべきであると思ふのであります。

玆に謹んで所感の一端を披瀝し以て祝辭に代へる次第であります。

祝電

滿洲帝國協和會々長　張景惠

今般、貴同盟主催の下に日滿華興亞團體會合し、興亞理念と興亞運動の徹底化のために積極的懇談を遂ぐるに至りたるは誠に同慶に堪へざるところなり。

今や東亞共榮圏確立の鴻業其の緒に就かんとする秋、日滿華三國の國民團體が相會し結盟をなし、一大興亞運動を展開せんとするは、只に三國の志士仁人を蹶起せしむるのみならず、大東亞十億の民族を奮起邁進せしむるに足ると信ず。

玆に主催者たる貴同盟に對し深甚なる敬意を表すると共に、會合の有終の美を收められんことを切望す。

中華民國東亞聯盟中國總會々長　王精衛

大日本興亞同盟林總裁閣下並に興亞懇談會代表諸公、今般大日本興亞同盟主催にて興亞懇談會が開催せられ、玆に日滿華三國興亞團體代表一堂に相會し、共同宣言の實踐を議し、興亞運動を促進せられんとするは遙かに欣びに堪えざる所であります。昨年春、中國は東亞聯盟運動を起し、政治獨立、經濟提携、軍事同盟、文化溝通の四大綱領に基き東亞民族を團結し、先進國と共に內共存を謀り、外侵略を防がんとするその趣旨は全く同樣であります。

大東亞戰爭勃發以來、吾人は全力を傾注致し、既に吾々の信念は實行となつて現れ、理論は着々事實となりつゝあります。此度の大會合が必ずやこれに更に一歩を進め、東亞の軸心を益々鞏固にし、興亞運動の具體策を進め得ると信ずるのであります。東亞の民族は既に大東亞戰爭を勝ち抜きつゝ解放を求めて各自がその全力を盡し、相互の團結を求めて東亞建設の一日も速かならん事を期してゐる次第であります。

玆に興亞懇談會の開催せらるゝに當り、除特派代表を盛典に列せしめると共に祝電を發し、大東亞戰

爭の勝利と興亞大業の成功とを御祝ひ申上げます。

中華民國新民會々長　**王　揖　唐**

本日、貴國興亞同盟懇談會開催せらるゝは欣びに堪えないところであります。本會々長政務多端の爲、躬ら參加致す事が出來ませんので茲に特派代表を盛典に參加せしめ、聊か辭を述べ祝詞を申し上げます。

日滿華三國の比鄰は唇齒相依り苦樂を共にするの關係でありまして、東亞を開放するの立場に在るのであります。昨年十二月八日、大東亞戰爭勃發し、疾風枯葉を卷くの勢を以て米英勢力を驅逐したのであります。

皇威は八紘に周く、今や聖戰は本格的段階に入り、その戰果を目のあたり見るのでありますが尙、最後の勝利に向つて努力を致さねばならぬのであります。近年日滿の一德一心、中日の同甘共苦に依つて、三國關係に永く友好を固め共に和平を完成し、興亞の大業を達成し、東亞共榮圈を建設するの目的に向つて邁進致し、以て世界永久の和平と德義を以てお互に手を携へて世界新秩序の建設を謀らんとするのであります。

之は日滿華三國は同一目標に向ひ、同一步調を以て興亞の途を邁進する事に外ならぬのであります。之が卽ち此度の懇談會開催の最大目的なのであります。此度の懇談會は必ずや人を驚かす樣な收獲がある事と存ずるのであります。之に依つて三國々民兄弟となり、相助け合ひ、世界新秩序の基調たる經濟方面に於ける國際搾取主義を排除し、共存共榮の政策を實行し、政治方面に於ける自由平等の個人思想を驅除し、以て萬民同樂兆民爲家の大同理念を謀るのであります。

貴國は既に國是定まり、必勝の信念を持し、國民總力を動員し、興亞の據點を擴大してゐるのであります。本會も興亞運動に參加致し國民組織を完成し、國民理念を統一せんため最大の努力を傾注してゐるものであります。貴會及其他の各興亞團體が手を携へて日滿華三國の關係を益々緊密にし、相共に協力し助け合つて共存共榮し、以て聖戰の目的を完遂されん事を希願して止みません。茲に本會合の成功を御祝すると共に各位の益々御健勝を祈願申上げる次第であります。

蒙古興亞協力會長　**吳　鶴　齡**

遙に興亞團體大會の盛儀を偲び大東亞各民族の血盟愈々重きを加へ、以て今次大東亞戰爭の完遂に邁進せられんことを祈念す。

代表挨拶

滿洲帝國協和會代表　張煥相

今回、大日本興亞同盟主催の下に日滿華興亞團體會合し、興亞運動の飛躍的、且具體的實踐に關し懇談を遂げる機會を與へられ、玆に滿洲帝國協和會代表として出席する機會を得ましたことは私の衷心より光榮とし、且つ主催者の洵に機宜に適したる御企圖に對し深く敬意を表し、併せて感謝申上げる次第であります。

抑々現下の世界情勢は前古未曾有の大動亂の波濤に棹し、世界再建てふ人類史上の大變革期に際會致して居ります。この大東亞の天地におきましても彼の米英蘭の侵略の巷と化すること、正に數世紀に及びましたが、親邦大日本帝國はその情誼に基いて、敢然立つてこれが撃滅の征戰の鉾をとりましてより、僅か半歳餘りでありますが、正に大東亞の截定成らんと致して居ります。

この秋に際しまして、わが滿洲帝國は早くも建國十周年を迎へ、日滿一德一心の關係益々緊密を加へ

て參りまして、大東亞建設の中軸として國礎愈々鞏固に、八紘爲宇の皇謨の顯現として世紀の一大偉觀を呈して居ります。

御承知の如くわが滿洲帝國協和會は滿洲帝國政府の特質に基きまして建國と共に生れ、嚴然たる國家機構として定められた團體でありまして、建國精神を無窮に保持し、國民を訓練し、その理想を實現すべき唯一の思想的、敎化的、政治的、實踐組織であります。會が創立以來、完全に政府と表裏一體となりまして、終始一貫强力なる國民運動と、國民訓練を展開致して參りましたが、建國理想の實現に全力をそゝぎ以て國運隆昌の裏づけを爲しまするると共に、興亞理念の實踐に懸命の努力を捧げ來つた次第であります。斯くてわが滿洲帝國四千五百萬の國民、特に三百萬に垂んとしまするわが協和會々員は國土鎭護の重責を負荷されたる光榮の下に、必勝必成の不動の信念と、逞しき情熱のうちに不撓の實踐力を發揮しまして、以て親邦と共に、大東亞征戰の完勝に向つて戰ひ續けつゝあるのであります。

惟ひまするに大東亞共榮圈の建設は、いふまでもなく日滿に加へまするに中國の積極的參加を得まして、極めて强力なる中核體を形成することが出來ると信ずるのであります。この日滿華が鞏固なる連繫の上に、眞に統一ある興亞理念を以て、一大興亞運動を展開致しまする時、初めて曠古の大業は易々として完遂されるものなることを確信致して居ります。この意味におきまして汪首席閣下の下、興亞運動に精進されつゝある中華興亞諸團體の同志諸君の確固たる信念と、その敢闘に對し、深甚なる敬意を表

する次第であります。

今や親邦の精鋭なる陸海軍は御稜威の下、戰果の驚異的擴大を遂げ、且つその積極的建設工作また着々實績を擧げつゝあるの秋、興亞諸團體がここに相會同しまして、惟神の大道による光被の下、興亞大業達成に向つて胸襟を披き、理念の統一と運動の徹底に關する懇談を遂げることはその意義極めて重大でありまして、會長以下三百萬會員は擧げてその成果に絶大なる期待をかけて居りますと共に、協和會代表として私は至誠誓つてこの歴史的使命を成就するため精進致す覺悟を披瀝し得ますることを眞に光榮と存じて居る次第であります。

以上洵に蕪辭でありますが、所懐の一端を述べまして挨拶に代へる次第でございます。

中華民國東亞聯盟中國總會代表　林柏生

大東亞戰爭が最後の勝利に到達せんとする時に當り友邦大日本興亞同盟主催にかゝる懇談會に、東亞聯盟中國總會の代表の資格を以て、この盛會に出席させて戴くことが出來ましたことを衷心より幸ひに存ずる次第であります。

只今興亞といふ二字を申上げまして、私が直ちに想ひ起しますことは、今から四十一年前、わが中華民國における革命の第二回の旗擧げの時に、卽ち惠州の驛におきまして一人の日本の志士、山田良政氏が、中國の革命を援助せられた爲に、惠州といふ所で戰死されたのであります。後に至りまして、わが國の國父と仰がれる孫中山先生は碑を立てまして、碑の中にはつきりと「山田良政先生こそは人道の犧牲、興亞の先覺なり」との文字を刻まれまして、今に尙ほ惠州の地に遺つて居るのでございます。これ中華民國革命の最も最初の時において、中日兩國の志士が、その鮮血を東亞防衞のため、中國復興のために一緒に流されたところの最初の歴史であります。以來この山田良政先生の壯烈なる犧牲的精神は永遠にわれ〳〵中國革命の同志の頭の中に深く刻みこまれ、而して永遠に國民革命の根本の信念になつたのでございます。

この數十年來、惜しいことにわが中華民國の革命は種々なる波瀾曲折に遭遇し、興亞の大業も亦嶮岨な道に逢着致しまして推進することが出來なかつたのであります。今回の事變に際會致しまして、われ等は遂に切實なる反省の中からその東亞に對する安危の關係に覺醒し、その東亞に對する同甘共苦の責任を持たなければこの大業は完うすることが出來ないといふことを深く〳〵認識したのでございます。

われ〳〵は須く中國の革命をして、その本來の面目に還らしめ、四十一年前中國のために犧牲になら

れた兩國の志士の鮮血をして無駄にせしめないやうに努力しなければならない責任があると信ずるのであります。

斯の如くしてわれ〳〵が十分反省自覺致しました結果、和平運動を開始したのであります。和平運動開始以來、われ〳〵中日兩國のこの運動に從事してゐる志士たちは幾多の犧牲を拂ひ、これが爲に斃れた人も莫大な數に上つて居るのであります。例へば皆樣御承知のやうに、汪先生の身替りとなられた曾仲鳴先生の如き、そのほか數十數百の尊き生命を失くしたのであります。お國におかれましても、わが和平運動に協力し、いろ〳〵と援助して戴きました多くの方々のうち、これがために犧牲となられた人もあるのでありまして、中でも諸君の御記憶に新たなるは須賀中將だらうと思ひます。この曾仲鳴先生或は須賀中將はじめ中日兩國の志士が何故にかうした尊き血を流さなければならなかつたか。固よりそれについては中國自體のため、日本自體のためといふ考へもあつたでありませう。しかし私はもう一歩進んで、興亞といふ大きな目的のために働かれたものと考へる。斯くしてこれらの熱烈なる先輩志士の方々の犧牲により、血により、涙によつて、漸くここに中日合作の大道が開拓されたのであります。就中大東亞戰爭勃發以來、友邦日本の勇武なる將士が血を浴び、身を犧牲に供して戰つてゐる、この熱烈なる狀況を考へて見まするのに、これら勇武なる將士は何のためにこの尊き犧牲を拂ひ、血を流したであらうか、これ即ち興亞の大道を開拓せんとする爲であると信じて疑はないのであります。

その意味におきまして、私は本日ここに東亞の軸心であります所の中日滿三國の同志が一堂に集りまして興亞に關する懇談會を擧行する、この場合において私は須くまづ以て興亞の先覺の方々、中日の和平運動のために盡された先覺者或は事變のために戰死された中日兩國の軍民の戰士の方々、就中大東亞戰爭のために尊き生命を捧げられました友邦日本の勇武なる將兵の英靈に對して、最大の敬意を表しなければならないと思ふのであります。

一昨年十一月三十日、われ〳〵中國と致しましては、中日基本條約を締結致しまして、同時に中日滿三國共同宣言を締結したのであります。それから十二月十七日、わが國と致しましては中國國民黨中央執行委員會の第三回全體會議におきまして東亞聯盟運動を發起し、三十年二月一日、中國國民黨を中心と致しまして各黨各派を叫合して東亞聯盟中國總會を設立し、會章を頒布致しまして、同時に政治の獨立、軍事の同盟、經濟の提携、文化の交流といふ四つの綱領を揭げたのであります。

然らば何故われ〳〵が和平運動を進展せしめてゐる時に、東亞聯盟の運動を發起したのであるか、この事につきましては只今申上げました國民黨の三中全會の宣言の中にはつきりと書かれてあります。卽ちその一節に曰く「大アジア主義は總理孫先生畢生の抱負であり、遺言である。本黨（國政黨）の同志は遠く先生の遺敎を念ひ、近くは時代の要求を察し、その心力を盡して以てこの運動の發展を促し、この運動を成功に導かなければならない」云々といふことが書かれてあるのであります。尙ほもう一つ、

東亞聯盟中國總會の會章の前文にはもつと詳しく記されて居ります。

一、大アジア主義はこれ東亞聯盟運動の最高指導原理である。

二、東亞聯盟運動は三國共同宣言の具體的實行である。

三、道義を基礎とする新秩序を建設し共存共榮東亞を復興することは東亞聯盟運動の共同目的なり。

かういふ風にはつきりと明示されたのであります。私はこれらの事柄は卽ちこの懇談會の重大なる課題であると信じ、同時にまた興亞の要訣であると信じて居るのであります。

斯の如く東亞聯盟中國總會の創立當初におきましては、わが國には大民會、共和黨、興亞建國運動本部といふやうないろ〱な民衆運動或は興亞運動の團體があつたのでありますが、これが何れも相次いで勇躍して發展的解消を遂げ、喜んでその持つてゐる所のありとあらゆる力を東亞聯盟中國總會に捧げ東亞聯盟中國總會の運動に合作することを宣言致しましたことは皆樣御承知の通りであります。何故にこれらの團體が斯くも喜んで、その今まで持つてゐた所の勢力を解消して東亞聯盟中國總會に參加したか、要するに彼等また興亞の大道のためにはやり一致團結しなければならない、區々ではいけないといふ考へに出でたに外ならないと信ずるのであります。その後數ヶ月にして新民會における第二回の全體聯合協議會におきましても、わが國民政府汪首席はわざ〱有力なる代表を派遣致しまして、東亞聯盟運動の要旨を說明せしめたことがあつたのであります。

斯の如くその成立の沿革、歷史に徵しても、わが國で發起されました東亞聯盟中國總會は全國一致のものであり、この全國一致で發起されました所の東亞聯盟運動は、友邦日本の興亞團體を糾合して結合して結成されました所の興亞同盟とは、その名稱において、文字の書き方こそ違ひますけれども、その動機、その精神、その目的、その根本において、總て相同じものであると斷言して憚らないのであります。

或は人曰く、同盟といふ形はよくないとか、聯盟といふ文字がよくないとか、いろ〱議論をする人があります。私は今日、かゝる區々たる形式の問題に拘泥して居る時代ではないと信ずるのであります。この點におきましてはわが東亞聯盟中國總會成立の日、既にわれ〱は明白にそのことを申したのであります。われ〱の注意せんとすることは形式ではなく、精神であるのであります。

然らばこの精神とは如何なるものであるか、卽ち東方の道義的精神であります。共存共榮の精神であります。東亞民族團結軸心の精神によつて、米英の侵略的勢力を排除し、共產黨擾亂の勢力を驅除する精神であります。お互に獨立を尊重し、協力奮闘せんとする精神であります。長短相補つて、有無相通ずる經濟提携の精神であります。分工合作、共同防衛、軍事同盟の精神であります。東亞本位文化の立場を以てお互ひの文化の融合を圖り、世界に對して東亞の文化の輝しきところを發揚せんとする精神であります。

諸君よ、私は精神と申上げましたが、精神といふものは決して口先だけで申上げるやうな空々漠々なものではありません。われ〳〵は必ずや、東亞全民族の總力を擧げて、これを基礎として壯烈なる闘爭を開始し、闘爭によつて初めてこの實現を見ることが出來ると信ずるのであります。

この精神は如何なる方法を以て具現されたか、既にこれは友邦の英勇なる將士によつて戰はれてゐる大東亞戰爭において實行に移されたのであります。わが國におきましても同甘共苦といふ聲明の下に、ありつたけの力を出してこれが實現に邁進しつゝある實情によつて、既にわれ〳〵は精神の域から脱して新たなる實行の域に進んでゐるといふことが判るのであります。

斯の如く、この前後において、去年の十一月十二日、中國國民黨のやはり中央執行委員會におきましては新たに新國民運動を發起し、十二月八日大東亞戰爭勃發の朝、汪首席は日本と同甘共苦を致すべく聲明を發せられ、今年の元旦に至りまして汪首席閣下は自ら新國民運動の綱領を定められましてこれを頒布したのであります。

然らばなぜ、東亞聯盟のある後に新國民運動を必要としたか、その理由ははつきりして居ります。われ〳〵はもう一歩進んで、一般の中國民衆、中國青年をして東亞防衛、中華復興といふ根本信念を十二分に認識せしめ、これを彼の一生涯の本當の根本理念たらしめんとするのであります。われ〳〵は同時に中國青年、中國民衆の精神力、物質力を總動員致しまして同甘共苦の要旨に基き、大東亞戰爭に協力

せしめんとするのであります。斯の如くして、同時にわれ〳〵は中國青年、中國民衆をして精神生活上においても、物質生活上においても須く今までの誤謬を正し、根本的に一大改造をして、新たなる確かりした青年となり、確かりした國民となつて、東亞共榮圏建設の上において有力なる幹部たらしめんとするに外ならないのであります。

東亞聯盟運動と新國民運動は二つのことのやうでありますが、その實これは一つのものであります。この點につきましては新國民運動汪首席が頒布されました新國民運動動員令の中に明瞭に記されて居るのであります。その中にかういふ文句がありました。この二つの運動は一は對內の革新に重きを置き、一は對外の團結に重きを置いてあるけれども、何れもその根源は同一の出發點から來て居り、その向ふ所は同一の目標であります。故に新國民運動は卽ち東亞聯盟運動の具體的國內の革新運動であるといふことは申すまでもないことであります。卽ち言葉をかへて言ひますと、この二つの運動は共に中國の興亞運動であるのであります。

和平運動開始以來私共は一時一刻たりとも考へないことはありません。如何にすれば中日兩國の關係を好轉せしむることが出來るか、如何にすれば東亞和平の確固たる永遠不拔の基礎がつくり得られるかといふことについては、われ〳〵は日夜考慮し、日夜努力して居るところであります。就中大東亞戰爭勃發以後、われ〳〵は一段と周章狼狽、如何にすればわれ〳〵の持つてゐる僅かなる力を以て日本に協

力し、日本と同甘共苦をすることが出來るか、如何にすればわれ〳〵の力をいくらかでもこの征戰に役立てることが出來るか、われ〳〵は焦慮して居るやうな次第であります。われ〳〵はよく覺悟して居ります。和平運動は決して一時の消極的の運動ではありません。これは永久なる積極的運動であるのであります。故に、單に中國の青年、中國の民衆をして消極的にもはや日本とは敵にならないといふ、この程度の認識では足らないのであります。須くわれ〳〵は中國の青年、中國の民衆をして積極的に、彼のありつたけの力、精神力、物質力を出し切つて、先進國日本の人達と手を握り、本當によき友達とならしめるやうにしなければわれ〳〵の和平運動は達成したとは云はれないのであります。

われ〳〵は十分覺悟して居ります。われ〳〵は單に中國の青年、中國の民衆をして消極的に、滿洲國の建國そのものに對する今まで持ち來つた所の誤解を一掃せしむるだけでは足らないと思ふのであります。われ〳〵は中國の國民をして誠心誠意、友邦滿洲と積極的に相提携し、相團結して行くやうに仕向けなければなりません。而して中滿兩國の積極的精神團結によりまして、友邦日本の偉大なる事業に對する協力の陣營たらしめなければなりません。斯くして初めてわれ〳〵が先進國に協力し、先進國に合作する所の適從の道であり、所以であると信じて居るのであります。

われ〳〵が大東亞戰爭の勝利を爭はんがため、われ〳〵が輝やかしき大東亞共榮圈を建設せんとするためには、いろ〳〵の力を要するのでありまして、單に物質の力を出して協力するだけでは足りませ

ん。もつと必要なのは精神的の力であり、その精神も啻に被動的なものでなく、特に自發的なものでなければなりません。

代表の皆樣、今より三十八年前日露の役におきまして先進國日本はその獨力を以て强きロシアを叩き伏せ、遂に東亞保衛の萬里の長城を築き上げたのでありますが、三十八年後の今日、先進國日本はまたその獨力を以て東亞保衛、東亞建設の先鋒を擔任し、今正に必死となつて奮鬪して居るのであります。同時に友邦日本は東亞全民族に呼びかけて、內にあつては共存共榮の實を擧げ、外に對しては一致團結して外敵の侵略を拒絕しなければならない。それが爲にはわれ〳〵東亞諸民族は一丸となつて行かなければならないのだといふことを聲高らかに叫んで居るのであります。斯かる東亞解放の重大なる時代に於きまして、われ〳〵東亞の向ふべき道は唯一つであります。卽ち英米の犬となり、英米に欺瞞されてゐる者は最早明らかにわれ〳〵の敵であり、東亞共同の敵陣であります。われ〳〵東亞は、須く一致團結して興亞の大業に邁進するやう、われ〳〵はわれ〳〵の力を確つかりと出し、うまくこれを配合し、協力して行くやうでなければ、われ〳〵はこの興亞の大業を完成せんとする大時代の落伍者にならなければならないのであります。この重大なる關頭に立つてゐることをわれ〳〵は十分自覺して居るのであります。

われ〳〵が協力するといふことは單に口先だけではいけないのであつて、協力するのにはまづわれわ

れは努力しなければなりません。われ〳〵が力を貯へて、その力を最高度に發揮しなければなりません。同時にわれ〳〵が努力し、協力するのには、そこに誓ひを要するのであります。

われ〳〵は協力する決心を持つて居ります。同時にこれがために努力する決心も持つて居るのであります。たゞわれ〳〵は自由なる努力の一つの大きな機會を與へて戴く、それによつて初めてわれ〳〵はありつたけの力を出して協力することが出來ると思ふのであります。

われ〳〵は共に苦しむ決心を持つて居ります。たゞ友邦の先輩の方々に願ひますことは、どうかわれわれに共に苦しむ「共苦の誓」を與へて戴きたい。これ卽ちわれ〳〵の興亞の大業に對する信念であり、同時にまた東亞聯盟運動乃至は新國民運動推進上におけるわれ〳〵の認識であり、努力の方向でございます。

最後に申上げますことはわが國の東亞聯盟運動と新國民運動とはいま肩を並べて共に推進中であるのでございます。どうか先進國の興亞同盟の閣下各位、興亞の共同信念に基き、中日基本條約の精神に基いて、今後とも不斷の御援助、御指導を賜りたく、友邦滿洲國協和會の閣下各位に對しましては中滿本然の關係に基きまして、共同宣言の精神に則り、われ〳〵はもつと〳〵緊密に提携致したいと存じます。斯の如くして中日滿三國國民が一致團結致しまして、初めて興亞の大道が、最も良き、最も固き礎がここに築き得られるものであることを私は信じ、且つ皆様にお願ひしたいのでございます。

中華民國新民會代表　黄　復　生

大日本興亞同盟において興亞運動の具體的且つ活潑なる展開を圖るために、特に中日滿各國の各興亞團體代表により、ここに懇談會を開催せられました。大東亞戰爭は着々と進展し大戰果を見つゝある今日、この種の會合を企圖せられたることは洵に劃時代的意義を有するものと信じて居ります。本會がこれに參加することを得ましたことを無上の光榮と存ずる次第であります。

中華民國新民會は支那事變勃發と共に非常の時期、困難の環境にありて民意を代表し、逸早く華北の地に成立致しましてより茲に五年、不屈不撓の決意を以て國民組織を完成するために、東亞解放、新國民運動を展開、努力邁進して今日に及んで居ります。しかも北支の特殊的情勢に直面しまして、共產黨と血を流して戰つてゐることは外部には現在の狀態を御承知にならないと思ふのであります。

大東亞戰爭勃發直後、華北一億民衆を領導し、逐次總動員參戰の體制を確立致しまして、大東亞戰爭後方の基地としての任務完成に努めて居ります。今回興亞懇談會を擧行せられたるを機と致しまして、本會は中華民國東亞聯盟總會と共に、日滿蒙興亞團體の各位と一體となり、東亞十億民衆をして同一目

標の下に結合することを得るのを喜びとするものであります。東方道義精神に基く東亞共榮、新秩序の建設は三國盟友の同甘共苦により得られ、世界平和の確立、及び全人類の幸福は東亞の安定によつて初めてその收獲を收めることが出來るのであります。

吾人は昨年十二月八日を以て東亞より米英勢力の消滅の日となし、本年十月十三日を以て東亞民族の力を集中し、歩調を合せて前進する記念の日となすべきであります。どうか代表各位におかれましても、この最も記念すべき日を銘記して下さるやうお願ひ致します。

甚だ簡單でありますが、この精神に基きまして共同前進下さるやうに祈つて已まない次第でございます。

蒙古興亞協力會代表

吉爾嘎朗

私は蒙古興亞協力會理事吉爾嘎朗と申す者であります。ここに一言御挨拶を申上げます。

本日ここに大東亞における興亞運動の中心的、且つ指導的地位にあられる大日本興亞同盟がアジアにおける興亞各團體の會合を開催せらるゝに當りまして、わが蒙古における興亞團體に對し御招待を辱う

し、われ〱これが代表として列席する機會を得させて載きましたことを最も光榮に存ずると同時に、今日大東亞戰のまつ只中にあつて、武力戰と相表裏する所の建設戰において推進的役割をなし、興亞運動の具體的展開に關しその研究討議のため、各地域の關係諸團體を一堂に集められ、互ひに連絡し、且つ隔意なき意見の交換を爲すの機會をお作り下さいましたことに對し、時局柄洵 機宜を得たる御催しとして、深甚なる敬意と感謝の意を表する者であります。

惟ふに大東亞戰爭開始以來、皇軍は陸に海に空に連戰連勝、赫々たる戰果を擧げられ、東亞の大業は今や着々進展しつゝあるのでありまして、この際各地域の國民運動をして、この大東亞建設の共同目標に集結、大東亞民族總進軍の烽火を上げることは洵に必要不可缺のことなのであります。われ〱は速かに興亞の理念を把握すると共に、將來の施策の大方針を立てなければなりません。この意味におきましてわれ〱蒙古側代表は非常な希望と期待とを以てこの大會に勇躍參加したのであります。

蒙古におきましては、成吉思汗紀元七百三十四年、即ち三年くらゐ前から各地に地方別の興亞團體が出來て居りましたが、本年一月、綜合團體として興亞協力會が結成せられ、各地方團體と協力して政府の治安工作並に施政躍進運動に協力し民衆の善導に努力し來つたのであります。元來蒙古政府の地域は北に西に前進基地であると共に、防共の第一線であります。蒙古の地域の眞の建設が出來なければ、延ては大東亞の建設に直接または間接に、種々なる影響を來すものと考へるのでありまして、この點共同

の密接なる利害關係を有して居るのであります。而して蒙古の建設戰はその建設を妨害する重慶側勢力、並に共産勢力との民衆爭奪の戰ひでありまして、民心を把握し得たものが最後の勝利者となるわけであります。

その爲にはどうしても强力なる國民組織或は國民運動といふものが必要なのでありまして、われ〳〵は將來ます〳〵自己陣營の强化に努力すると同時に、地方團體を綜合統一して、興亞團體としての使命達成に邁進しなければなりません。

幸ひこの大會で討議或は申合せた結果に基きましてその運營の方向を確立し、誤りなくこの指導をなす覺悟でありますから、希くは大日本興亞同盟を初め、各地域の興亞團體におかれましては將來とも御指導御鞭撻を賜り、互に連繫を密に致し、協力してこの興亞大業の完遂に寄與せんことを希望する者であります。

以上簡單ながら所懷を述べて御挨拶に代へる次第であります。

座長招待晚餐會席上挨拶

於 上野精養軒

大日本興亞同盟總裁 林 銑 十 郎

一寸御挨拶申上げます。今回日滿華興亞の會合を企てるに當りまして、各閣下各位は土地の遠近を論せず、中には所謂千里を遠しとせずして來り會せられまして、この會合をして頗る有意義なものにして戴きましたことは、主催者たるわれ〳〵と致しましては洵に感謝に堪へぬ次第でありまして、御來會の各位に對し厚く御禮申上げます。

明日よりいろ〳〵と御協議申す事柄もあるのでありますから、どうぞ忌憚なく御意見の御發表を願ひまして、この會合をして有終の美を收めしめるやうに念願致して已まないのであります。今夕は聊か御慰勞の目的と、また皆樣方が相互に打融けてお話下さる機會を得たいと存じまして、この小宴を催した次第であります。設備その他洵にお粗末でありまして、皆樣方の御旅情をお慰めするわけには參らんと存じますが、どうぞ主催者側の意の在るところをお酌み取り下さいまして、ゆる〳〵御歡談下さらんこ

とを切にお願ひ致します。玆に盃を擧げて閣下各位の御健康をお祈り致したいと思ひます。

謝辭

滿洲帝國協和會代表　張　煥　相

洵に僣越でございますが、今夕御招待を辱う致しましたる興亞諸團體代表一同を代表致しまして一言御挨拶を述べさせて戴きます。

本日の會合披露式におかれまして林總裁閣下の御挨拶の中に拜承致したのでありますが、過般、大日本興亞同盟が親邦における六十有餘の興亞團體を統合の上、國民總力を結集して興亞運動の劃期的展開をなさんとする目的を以て結成され、今般その御披露を兼ねて今後の大東亞における興亞運動に挺身すべく、日滿華國民團體を集合して玆に意義深き第一回の懇談會を開かれたのであります。

昨年十二月八日、畏れ多き極みながら、米英に對する宣戰布告の大詔を渙發遊ばされ、大東亞十億の興亞諸民族、積年の宿願たる米英勢力の徹底的擊滅の幕　切つて落されました。爾來今日に至るまで、西太平洋を中心に展開されて參りましたる赫々たる戰果に對して私共はひたすら感歎申上げる次第であります。

惟ひまするに大東亞建設の序曲は既に十年前の滿洲建國に始まり、五年前の支那事變を以て本格的段階に入り、大東亞戰爭によつてその全貌を明瞭ならしめたる次第でございます。その雄渾なる建設譜は人類再興の所產として尊くも偉大なる聖業でございます。これが完成に關しましては申上げますまでもなく軍事的截定の上に、親邦大日本帝國の指導下、新しく出發點を與へられたる東亞十億の民族が八紘爲宇の皇謨に衷心感謝し、一大興亞運動の進展こそ必要不可缺と信じます。

この觀點より致しまして私共興亞團體代表一同は眞に興亞の先驅者として世界情勢を確認し、大東亞の實體を明認して世界平和のため、人類再建のためにこの大東亞建設の曠古の聖業に一致協力邁進する覺悟と實踐を必要とすることを痛感する次第であります。われ〳〵は色々なる抽象的空論の戯れを排して、只管に逞ましき實踐力を以て速かに大東亞建設の總進軍を開始致さねばなりません。この意味におきまして明日以後の具體的懇談も歷史的成果を得べきことを確信し、且つ祈念する次第であります。

今夕はわれ〳〵一同に對し斯くも盛大なる宴をお設け下さいまして、且つ只今は御懇篤なる總裁閣下のお言葉も拜承致し、一同過分の光榮と感激にひたつて居る次第でございます。たゞ今夕の盛宴を受けまするにつきましても、私ども貴國上陸以來、物心兩面における餘裕綽々たる戰時下日本の眞相を眼のあたり拜見致しまして、明朗なる國民と活氣溢るゝ雰圍氣とに接し、洵に心强く感ずる次第でございます。大東亞の前途は必ずしも坦々たるを得ないと存ずるのでありますが、吾等一同はこの賴母しき親邦

大日本帝國を中心に、力強く戰ひ拔き、必勝必成の信念を更に深め得たことを最後に告白致しまして、感謝の意に代へたいと思ふ次第でございます。

最後に閣下各位の盃を拜借致しまして、總裁閣下の御健康並に興亞同盟の御隆昌を祝して乾盃致したいと存じます。

第二日經過記錄

十四日午前九時大東亞會館會場にて開會、懇談會に入る。會合次第次の如し。

振鈴　着席、議長（林總裁）着席、開會の辭（匝瑳委員長）一同起立敬禮、議長會議の進行を促せば議案「日滿華共同宣言具體化のための運動方策」に對し本同盟山岡理事長立ちて提案理由の說明をなす。次いで匝瑳委員長議案の朗讀をなし、之れに對して議長各代表の意見を問う。協和會代表張煥相、東亞聯盟代表林柏生、新民會代表張子鈞、蒙古興亞協力會代表陳玉銘、興亞同盟常務顧問宮田光雄の順に眞摯熱烈なる意見の開陳あり。

終りて議長、議案の採決に入れば「異議なし」の聲あり賛成者起立を求めたるところ全員起立して本案の採擇をみたり、時に**午前十一時半**。

正午、同會場食堂にて午餐、**午後一時半**同盟見學班の案內にて明治神宮外苑繪畫館着、館長の案內に明治大帝の御聖德をしのび、次いで海軍館に至り館長の新山海軍中將の懇切なる說明にて館內各種兵器、繪畫等を觀覽し**四時半**辭去、**午後五時**よりは帝國ホテル大宴會場に於て經濟八團體主催による日滿華蒙興亞團體歡迎の招宴に臨む。席上主催者側代表として東京銀行集會所會長關根善作氏の挨拶あり、主賓代表として新民會代表黃復生、蒙古興亞協力會代表吉爾嘎朗兩氏の謝辭ありて主客歡を盡し**同八時**散會せり。主催者側、東亞經濟懇談會、東京商工會議所、東京銀行集會所、日本商工會議所、日本經濟聯盟會、日本工業俱樂部、日本貿易振興協會、信託集會所の各首腦部、主賓側、滿華蒙各代表、來賓側、本同盟林總裁、山岡理事長外各局長、荒木貞夫大將、東京市長岸本綾夫大將、眞方興亞院政務部課長等約二百六十五名參集せり。

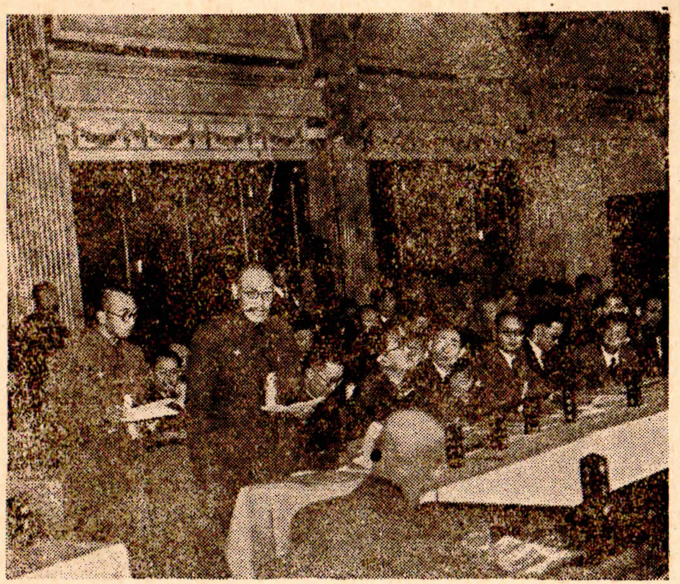
日滿華興亞團體懇談會（會議第一日目）

議案提出（大日本興亞同盟總裁　林銑十郎大將）それではこれから開會致します。只今より議事に入りますが、御手許に差上げてあります議案を御覽願ひます。

提案理由説明（大日本興亞同盟理事長　山岡萬之助氏）

私より提案理由を申上げます。只今議題となりましたる日滿華共同宣言具體化の爲の運動方策につきまして提案の趣旨を説明致します。御承知の如く東亞新秩序を樹立して共榮圈を確立致しまするには、東亞に於ける積年の禍根でありまする米英を中心とする西歐諸國の侵略的勢力を芟除しなくてはなりません。大東亞戰爭の遂行によりまして、永年に亙り彼等が蟠踞したる據點は擊摧されたのでありますが、眞に東亞の安定を確保し、世界の平和に貢献せんとするには今後多大の努力を要することと論を俟たないのであります。これが爲には各國民の總力を結集し大東亞諸民族を打つて一丸とする體制を整へまして興亞運動を强力に展開することが必要であります。而してその方法は種々ありませうが、茲に喫緊の要務は、日滿華三國共同宣言を具體化することであると考へこれを議題と致した次第であります。日滿華三國共同宣言は、東亞に於ける道義的新秩序建設を共同目的として三國提携して恒久的平和の樞軸を形成しこれを核心と致しまして大東亞を建設せんとするにありますので、國防の協力、防共の徹底、經濟の提携等各般の施策が講ぜられるのであります。これ故に現下興亞運動を展開致しまするには、三國共同宣言と基調とすることが肝要であります。仍て

三國共同宣言を具體化しまする爲に五つの運動方法を提議したのであります。何卒御檢討の上、全會一致御贊成あらんことを希望致します。これを以て終ります。



議案朗讀（委員長　匝瑳胤次）提案を朗讀致します。

日滿華共同宣言具體化のための運動方策

日滿華共同宣言前文の趣旨に遵ひ三國相互に其の本然の特質を尊重し、善隣として緊密に相提携し東亞に於ける恒久的平和の樞軸を形成し之を核心として大東亞共榮圈建設の基礎を確立し世界全般の道義的新秩序を達成せんとすることは三國共に念願する所である。

三國政府は既に條約の締結によつて其の意を明らかにし着々として各々其施策に努めつゝあるが、更に三國々民に其の主旨のある所を徹底せしめ國民相互の理解と大東亞建設の意志と結集して政府の施策に響應するの體制を整ふるを得ば益々其の實效を擧げ得べきは言を俟たざる所である。是に於てか先づ各國於にける民間興亞團體代表の會合を第一段階となし相互に意思の疏通を圖り相共に興亞の大業を翼贊するの理念を確立し之を各國民に普及せしめ以て大東亞共榮圈の中核體を成し善隣友好、

共同防共、經濟提携、文化交流に一層の鞏靱を加へ、以て米英勢力を驅逐し、大東亞戰爭完勝に協力することは刻下緊急の要務なりと信ずるのである。之が爲大日本興亞同盟は左記の提案を爲し其の運動を展開せんとす。

一、今後適當なる時期に此種會合を開催すること、其の時期方法等は其の都度之を定むること。

二、時々講師の交換を行ひ興亞理念に對する共同意思の結集を圖ること。

三、刊行雜誌、圖書の交換は勿論相互に情報を交換し、各種の運動に協力すること。

四、文化的宣傳に對して相互に緊密なる連絡を保持すること。

五、各團體員の視察見學等を行ひ相互の親善を圖ること。

滿洲帝國協和會代表意見開陳（張煥相氏）　本案に對しまして意見を開陳致したいと存じます。康德七年十一月三十日、日滿華共同宣言が三國政府によりまして締結されましたが、爾來世界情勢就中東亞に於ける諸情勢が親邦を中心として興亞の爲め決定的好轉を招來致しまして、三國の間に於ける本條約のもつ重要性愈々大なるを痛感致したのであります。且又政府相互間に於きまして一般提携就中善隣友好、共同防共、及び經濟提携が飛躍的緊密を加へ具體化されて居りますことは既に御承知の通りであります。抑々世界平和確立の目標に向つて貢献せんが爲には、先づその前提と致しまして、東亞に於ける恒久的平和の樞軸形成が第一要件であります。三國互に道義世界創建の理想に燃えて、當面せる大東亞共榮圈建設の中核體としての緊密なる提携が要請される次第であります。玆に於きまして、政府相互の具體的施策に加へまするに、東亞諸民族中の主要部分を占むる三國國民が、各政府の意を體し、國民相互の理解の徹底に加

ふるに、その總力を結集して共同目標に向つて眞劔に奮起の要があります。前に申述べました如く、この共同目標即ち興亞の大業完成は、飽くまでも、國内に於ては、官民一致であり、三國間に於ては政府の相互の積極的連繋であり、國民相互の緊密なる協力によつてのみこれを期待し得るものであると確信致します。斯く致します時に、吾々三國興亞諸　團體のもつ任務も自ら明瞭でありまして、政府相互の關係に照應しまして、團體相互の提携を緊密にすることは國民相互の理解協力を徹底化する所以に外なりません。國民訓練に、國民運動に、十分なる實績をもち、又擧げんとしつゝある相互の團體でありまして、現下の最大要望は興亞團體相互の具體的提携實現にのみ存在するのであります。即ち大東亞聖戰完勝に協力し、以て大東亞共榮圈建設への積極的前進の具體化は玆に第一歩を期待されます。この意味に於きまして、本代表は本提案に對して贊成の意を表する次第であります。以下御提案の便法に對して申上げます。

第一、今後適當なる時期にこの種會合を開催すること、その時期方法等はその都度これを定むること。改めて申上げるまでもなく、今回の會合の有意義なることは各代表も既に感得されたる所にして、異議なき所と存じます。時期方法等はその都度定められることにも異議はありませんが、第二回の開催地を新京とされんことを希望致します。又會合内容は儀禮的、交驩的のものより、具體的へ前進すべきものと思はれます。

第二、時々講師の交換を行ひ興亞理念に對する共同意思の結集を圖ること。興亞理念に對する共同意思結集の方法と致しまして當然必要と信ずるものであります。講師交換實施に當つては愼重なるを要すると思ひます。

第三、刊行雜誌、圖書の交換は勿論相互に情報を交換し、各種の運動に協力すること。雜誌、圖書、情報交換は大に結構と存じ、且つ必要なことゝ存じます。これに

よつて各種の運動の協力も當然必要であります。

第四に、文化的宣傳に對して相互に緊密なる連絡を保持すること。大東亞一環の今後の文化交流の重要性を思ふとき、本項の如きも具體的に連絡方法を研究して、實現の速かならんことを祈る次第でございます。

第五、各團體員の視察見學等を行ひ相互の親善を圖ること。從來とも實施されてゐる所であり、單なる相互の親善を圖るのみでなく、相互の實情認識上緊要であり必要であると考へます。

東亞聯盟中國總會代表意見開陳（林柏生氏）この度興亞同盟の御提出になりました中日滿共同宣言具體化の爲の運動方策提案理由並に御說明を承りまして、私は非常に敬服に堪へません。我が中國の東亞聯盟中國總會は、丁度中日滿三國共同宣言締結された直後に成立したものでありまして、その成立致しました理由としましては、即ち一方に於きましては、この三國共同宣言の精神をして我が建國の國民に十分徹底させ普及させようとするのであり、同時に又これを實行に移さうとするのであります。單に吾々は文學の上に於て宣言を締結し條約を發表しても何もなりません。これを實行に移さなければ何も效果がないのであります。吾々は必ずや締結されました所の共同宣言の一字一句をしてその通りに實行させなければならないといふ考への下にこの運動を始めたのであります。この共同宣言の本質のこの精神を本當の實行に移すが爲には、どうしても吾々三國の興亞團體が、三國の興亞に關する同志が一團となつて緊密な連絡を圖つて行くのでなければなか〳〵實現は難しいのであります。

御提案になりました所のこの運動方策一、二、三、四、五、ともに私はこれはお互が只今申上げました趣旨に基いて連絡を圖り、或はこの精神をお互の國民に普及

する上に於て最も大切なことであり、第一段楷の而も根本的のものであるのであります。その意味に於きまして東亞聯盟中國總會の代表一同これに對しては絕對に異議なく一致して贊成申し上げる次第であります。願くは第一段のこのやり方を徹底させて、これを基礎として吾々がお互にもつと〳〵努力して、さうして將來これよりもう一段と進んだ所の緊密なる連絡の方法を講ずるやうにしたいものであります。御提案になられました所の第一の、今後種々なる方法を以て適當なる時期にこの種の會合を開催するといふ御提案に對しましては、只今滿洲國の方の御贊成があり、同時に次回は滿洲の新京でやりたいといふお話でありましたが、洵に結構なお話であります。若しその通りに次回新京に於て開催されるやうなことになりますれば、我が中國の代表は喜んでこれに出席する決心であります。同時にその次に於きましては、どうか三國共同宣言の順序によりまして、我が中華民國の首都であります所の南京で開催させて貰ふやうに希望し、皆樣の御贊同を得たいのであります。

最後に一言吾々の決心を述べさせて戴きたいのであります。吾々はこの三國共同宣言の精神を實現する爲に、興亞の理想を實現する爲には、吾々最早理論の時期から實踐、實行の時期に移つたといふことを痛感するのであります。吾々中國の興亞の同志は、この興亞の理念の實現の爲に、或は三國共同宣言の精神徹底の爲に、曾て吾々の同志は幾多の血を流したのであります。同時に今後吾々はこれを徹底させる爲には、流し盡されてゐない所の吾々の血を必ずやこれに注ぎ、この爲に流す決心を持つて居るといふことを開陳致しまして皆樣の御協力を願ひたいのであります。

新民會代表意見開陳（張子鈞氏）私は中華民國新民會を代表しまして、今日こゝにこれから討議なさい

ます議案に對しまして聊か意見を申述べたいと存じます。

中日滿共同宣言具體化のための運動方策は今回懇談會の第一議案であります。さうして比較的に最も重要な議案であります。中日滿共同宣言公布以來今日まで二箇年になりました。この二箇年になつた現在におきまして、斯かる問題を討論し、より圓滿な結論を獲得することは、さうしてこの圓滿なる結論を以て、今後より一層具體的且つ活潑なる實行に移らうといふ域に達するといふことは、われ〳〵日中滿三國興亞同志各位にとつては最も重大にして且つ切實な問題であると信じてをります。

中日滿宣言は東亞の歷史におきまして、その意義に關しては、われ〳〵は現在改めて申述べる必要はありません。中日滿三國間に締結されました條約も、それに對してわれ〳〵は現在各々その擔當分野に邁進してゐることも改めて申述べる必要はないと存じます。玆におきまして、時間を儉約するために、原提案に從ひまして、甚だ僭越でありますが、新民會としての意見を申述べ、之れを補充することは非常に光榮と存じてゐる次第であります。

先づ原提案の第一から申上げます。（今後適當なる時期にこの種會合を開催すること、その時期方法等はその都度これを定むること……）これは弊會と致しましては、當然原則上最も贊成する事項であります。今回、この第一回の懇談會の狀況を見ますと、非常に熱烈であり、そして莊嚴であるといふことは非常に喜ばしい現象であると存じてをります。これをもちまして相互間に忌憚なく意見を交換して、今後斯かる問題をより一層討論することは、興亞運動にとつて非常に有意義なことであると思ひます。われ〳〵は今後斯うした會を每年一回開催して頂きたく、又それに依つて得る收獲を期待して已まない次第であります。

次に開會の場所に就て申上ぐれば、只今滿洲國代表は來年は滿洲國新京において開會せられんことを希望してをりました。さうして中華民國東亞聯盟も、その次の年は南京で開會することを希望してをります。こゝにおきまして私はその次の年こそ是非共北京で開會させて頂きたいと希望するものであります。この開會によりまして、わが三國間の國民精神、さうして三國間の國民の觀念を統一することが出來ると信じてをります。斯くて初めて東亞における六億人民が同一の步調のもとに共艱共苦の生死を共にする信念が植付けられるものと信じてをります。

それから原提案にあります第二、第三、第四、第五の各提案の方法について簡單に申上げたいと思ひます。講師の交換は旣に日本と中國間では行つてをります。しかし今後は斯樣な御計畫をより一層强化せられんことを希望してをります。講師の交換は、これをもちまして興亞理念を結集することが出來るのみならず、これも利用しまして三國間の第一流學者が實際的に文化の交流工作をなすことが出來ると信じてをります。刊行雜誌、圖書の交換並に情報の交換等、文化宣傳の相互間の緊密な連絡は、今後益々これを强化せられんことを希望する次第であります。中華民國新民會と致しましては、以上の點に贊意を表する以外に異議をもつてをりません。

次に第五の（各團體員の視察見學等を行ひ相互の親善を圖ること）この一項に對しては、勿論全面的に贊成でありますがその方法と致しまして統制的な方法をとつて貰ひたいといふ希望をもつてをります。その理由は現在のやうな非常の時期にありまして、人員並に時間の關係上、そして交通運輸の關係上、われ〳〵が物資を消費し、いろ〳〵な經濟的な條件の下に斯樣な視察見學を行ふのでありますから、これに對しては最も有意義な方面に目標を定め準備する事が必要であらうと思ひます。こ

れを以て初めてわれ〳〵の視察はその所期の目的を達成することが出來るのであります。かういふ見學視察をもちまして、われ〳〵三國間の各々長所短所を以て相補ひ三國のより緊密な親善を圖ることが出來ると信じてをります。

最後に青少年運動に關して一言附け加へたいと思ひます。青少年は國家の未來の主人であります。國家の未來の主人は過去を引繼ぎ、さうして未來を開拓する中堅分子でありますが、斯樣な運動は現在歐洲のドイツ・イタリーにおきましても既に青年運動として相當な效果を收めてゐることと存じてをります。中日滿三國もこの青少年運動に全力を集中して、もつと青少年の組織と訓練に努力せられることが最も必要なことであると思ひます。今後三國內の若々しい活潑なる青春の熱情を結合して、青少年の步調を一致せしめるといふことは、われ〳〵興亞團體にとつては最も重要な責任でありまして、より一層密接な連絡を持ちたいものと希望致してをります。

興亞運動は既に數年の歷史をもち、確立される基礎をもつてをります。しかし現在に至りましても尙ほ依然として輕視すべからざる障碍が殘つてをります。この障碍は七・七事變即ち日支事變前におきまして、中日兩國間の病態的狀態の殘損物であります。それは兩國國民間の生活習慣が同一でない關係上、そしてまた舊時代の觀念をそこに包容してゐる關係上、われ〳〵は常に、相互間に、甚だ細かい詰らないことで非常な不幸を演じてゐることをよく見受けるのであります。この種の不幸の障碍は勿論興亞運動の確立されたる思想に對して影響を及ぼすやうなことはないと思ひますが、しかしそれあるがために、折角われ〳〵が全努力を集中して築き上げた兩國民間の感情を損う如き結果ともなる事を非常に殘念に思つてをります。一日も早くこの缺點を除きたいと思ふのであります。その方法と致しましては、消極的には各々

の間に成可く制裁的な言行を行はないことであります。積極的にいひますと、相手方に對して最も親切で最も恒久的な目標に基いてそれを矯正しなければならないのであります。一例を擧げていひますと、中華民國は一般に中國或は華として呼ばれてをります。併しながら現在未だに、支那、或は北支、中支といふ用語を使つて、中國の人に對して非常に耳障りな不愉快な感じを與へるやうなことが間々あると思ひます。斯樣なことは非常に細かい、つまらないことではありますが、兩國間の民衆の感情に對して非常な惡影響が殘るといふことは事實であるのであります。これはわれ〳〵三國の間におきまして、一方の柱が倒れ掛つてをる場合これを倒さないやうに努力する事が三國間の友誼であると思ひます。一方の惡感情を一掃するためには、ぜひとも一方は躬らを讓らねばならないのであります。かうして初めて軌道に乘つた眞實の親善を圖ることが出來るのであります。

率直なことを申上げまして、いろ〳〵お氣に障ることがあつたかも知れません。非常に失禮なことを申上げましたが、どうか興亞同志各位の御諒解をお願ひ致します。

興亞協力會代表意見開陳（陳玉銘氏）　本日蒙古政府代表吉爾參議が出席致す筈でありましたが、差支がありまして私が代理を致します。

只今拜聽致しました御提案の理由の御説明に對しましては、蒙古興亞協力會と致しましては心より贊成の意を表するものでございます。今回のこの御運動に對して私ども蒙疆地域に至るまでこの運動を實行に移したいと考へてゐる次第であります。われ〳〵蒙疆の地域における住民の總力を擧げて東洋の道義を揚げ、防共共和の厚生をその方法と致し、然して官民一體の總力により東亞の理想新秩序建設を致さうとかういふ考へをもつてをりま

す。尙ほ大東亞戰爭の達成は、要するに興亞の大業でありまして今後更にそれに向つて十分なる力を致したい考へをもつてをります。この運動方策として御提案の第一から第五まではわれ〳〵蒙疆の興亞協力會からも具體案を作成致しまして更にこの大日本興亞同盟にお願ひ致します。その實行につきまして今後御指導を仰ぎたいと存ずる次第であります。尙ほ各位の御助力によりましてこの運動の盛會を祈る次第であります。

重ねてこゝにお斷り申上げて置きたいことは、只今ここに立ちまして申上げましたことは、これは蒙疆の政府を代表するといふ意味ではございませんで、蒙疆住民の意思をこゝに代表したといふことにお含み置きをお願ひ致したいと思ひます。これをもつて私の話を終りたいと存じます。

大日本興亞同盟代表意見開陳（宮田光雄氏）

只今議題となつてをりますところの日滿華三國共同宣言具體化のための運動方策につきまして、宮田光雄がこゝに日本側委員を代表して贊成意見を述べたいと存じます。

凡そ世界恒久の平和を希望し、道義的新秩序の樹立を致しますには、大東亞において眞に搾取なき共榮圏建設を完成しなくてはならんのでございます。而して大東亞共榮圏を確立するためには、先づその中樞たるべき日滿華三國が、善隣協輔、鞏固不拔の提携をなし、東亞恒久的平和の樞軸となりアジア全土の結集を圖らねばなりません。こゝに三國共同宣言の意義があり使命があるのでございます。

今や、御承知の如く多年に互る米英の侵略、壓迫、搾取からアジアの解放を目指して起つた聖戰は、實に連戰連勝、赫々たる戰果を擧げ、彼等の據點を次ぎ〳〵に奪還致しまして、アジア建設の巨歩を堂々と進めつゝある事實は洵に悅ばしき極みで、御列席の各代表各位もまた定めし御同感のことと存じます。

併しながらこの大東亞戰爭を完遂し、新秩序を建設し、もつて世界の平和に寄與せんと致しまするることは、前途尙ほ容易ならざるものでございます。こゝにおいて最も緊要なことは、われ〳〵興亞運動に挺身するものの立場と致しまして、この三國共同宣言の趣旨に從ひ、三國政府の施策と緊密に相提携致しまして、さうして各國の民間における興亞團體の代表の會合を屢々行ひ、この提案に提示されましたる運動方策に從ひまして、相互に意思の疏通を圖り、興亞理念を確立して、これをその國民に普及徹底せしめ、もつて鞏固なる大東亞共榮圏の中核體を形成し、協心戮力、大東亞戰爭完勝のために敢闘邁進しなければならないと信じます。

この意味におきまして、本提案は洵に適當なものであると考へまして、こゝに贊成の意見を表します。今まで述べられましたるところの各代表の意見を御參照になりまして、速かに各項目の御實施をせられるやうに希望致します。

終りに尙ほ一言申上げて置きたいことは、世の中のことは、自分だけの思ふやうにはなか〳〵參るものではございません。眞に血を分けたところの骨肉、いはゆる親子兄弟の間でも、何等の不平も不滿もなく圓滿に參るといふことはなか〳〵むづかしいことであります。況んや國を異にし、人情風俗の同じからざるところの東亞の諸民族が相携へまして大東亞建設の目的のために進むのにつきましては、いろ〳〵意見もありませうし、異つたところのお考へもありませうが、これは只今申上げましたて大東亞建設といふ大眼目のために、いはゆる小異を捨て大同に合する崇高なる精神をもつて、われ等の共同の敵たるところの米英打倒のために協力邁進したいと存ずる次第でございます。宜しく皆さん方の御協力を仰ぎます。これをもつて私の意見の開陳を終ります。

經濟八團體招待晩餐會席上挨拶（於帝國ホテル）

主催者挨拶

東京銀行集會所會長　關根善作

主催者側を代表致しまして御挨拶を申上げます。

閣下並に各位、今般大日本興亞同盟主催の下に日滿華興亞團體會合の開催せらるゝに當り、滿華蒙側御出席の閣下並に各位が遙々御來朝に相成りましたのを機會に、聊か歡迎の意を表するため東亞經濟懇談會、東京商工會議所、東京銀行集會所、日本商工會議所、日本經濟聯盟會、日本工業倶樂部、日本貿易振興協會、信託集會所の經濟八團體が相諮りまして茲に粗莚を設けましたところ、各位には御多用中にも拘らず御來臨を賜りましたことは、主催者側と致しまして洵に光榮に存ずる次第でございます。

大東亞共榮圈は大東亞戰爭の進展に伴ひまして廣汎なる南方諸地域を包含致しまして、正に建設の段階に入つて居るのであります。この秋に當りまして、日滿華興亞團體が親しく御會合になられまして興亞運動の具體的發展に關し種々御懇談を遂げられますことは、洵に時宜を得たる御企てと存じまして滿腔の賛意を表し且つ欣快に堪へない所であります。

顧みますれば今次の戰亂勃發以來、いはゆる反樞軸國家は諸方面において慘敗を喫しつゝありますにも拘らず、未だ世界新秩序の眞意義を悟りませんで、種々術策を弄し、今尙ほ無益の抵抗を續けて居るのであります。この間に於きましてわが大東亞共榮圈の建設は實に全アジア民族に課せられたる所の世界的の任務であります。その完遂は實に今後の歷史を決定するに比類なき大事業であると存ずるのであります。勿論これが完遂は容易なことではありません。前途幾多の苦難のあるところでありますけれども、今日この大東亞共榮圈の建設を達成するに非ずんば、或は永遠にその達成の機を失ふべしといふ信念の下に、わが國は朝野を擧げて、多大の困苦をも克服する決意を固めつゝ、その建設に着手したのであります。されば、全國民は各々その分に應じて渾身の努力を傾注し、その達成に邁進して居る次第であります。われわれ經濟人と致しましても東亞諸地域の經濟提携によりまして大東亞廣域經濟圈の確立のために懸命の努力を拂つて居りますことを、何卒十分この點を御理解下されたいと存じます。

今回の日滿華興亞團體の會合におきましては必ずや幾多建設的方策に關する有效適切なる御意見の御開陳があつたことと存じますが、今後これらが興亞運動の展開に資すること甚だ多かるべきを信じ、一日も早く所謂アジア民族のアジアが建設せらるゝやうに、各地興亞團體におきまして更に一段の御奮勵あらんことを切に御願ひ申上げる次第であります。

今夕は折角御光來を煩はしましたに拘らず、設備萬端洵に不行屆きでありますが、何卒私共の微衷をお酌取り下さいまして、一夕の歡を盡されますならば仕合せに存ずる次第であります。

以上簡單でございますが、主催者側を代表致しまして歡迎の言葉を申し述べた次第であります。茲に盃を擧げまして大東亞共榮圈の前途を祝福し、併せて閣下並に各位の御健康をお祈り致す次第であります。

謝辭

中華民國新民會代表　黄　復　生

甚だ僣越でございますが、私はお招きに與りました一同を代表致しまして答辭を申上げます。

この度各團體の代表が興亞懇談會に參加のため貴國に參りました所、朝野各位の一方ならぬお世話になり、洵に感謝に堪へません。本夕また經濟八團體の御招待に與かりまして、御厚情と御厚意と相俟つて一層親密さを感じて居る次第でございます。今後中日滿三國の關係はます〳〵密接となり、同一興亞理念の下において三國人民をして接近せしめ、相互の感情をより一層緊密ならしむるために、興亞同志が一堂に集合することは洵に意義深いものがあると信ずるのであります。

御主人側各位は何れも經濟界の重鎭であり、その學識經驗は夙に私共も感服致して居る所であります。われ〳〵中日滿三國の友邦關係を結ぶ三國共同宣言の中には經濟提携に關する規定があるのであります。しかもこの經濟提携は如何にして決定的に實現し得るのか、これは三國人民の努力に俟つところ多大なるものがあるのであります。御主人側各位は貴國の經濟界に多大なる貢獻がおありなされたのでありますから、盟邦各國の經濟に對しても必ずや御盡力を惜しまれないことと存じます。われ〳〵各團體代表一同は御主人側各位の驥尾に追從して三國經濟提携を最善の域に達せしめ、圓滿なる結果を收むべく努力し、以て本夕の盛會を有意義ならしめたいと存じます。

最後に臨みまして御主人の盃を拜借致し各位の御健康を祝福申上げますと共に各團體の御發展をお祈り致します。

謝辭

蒙古興亞協力會代表　吉　爾　嘎　朗

御招待に與りました團體が多いためでありませうか、二人くらゐ重複でありますけれども挨拶して呉れといふ御指名に從ひまして、甚だ僣越ではございますが、御招待に與かりました各團體を代表致しまして、重ねて一言謝辭を述べさせて戴きたいと存じます。

玆に甚だ失禮でございますが、御招待に與りまして、まだ閣下各位に一々お目に懸つて御挨拶を申上げることが出來ませんでしたために、先づ以て自己紹介を致します。私は蒙古興亞協力會の理事で、この度大會に參列すべく參りました蒙古政府の吉爾嘎朗と申す者でございます。

本夕は閣下各位におかせられましては洵に御多忙中にも拘りませず、斯る盛大なる宴を御催し下さいまして、われ〳〵一同を御招待下さいましたことは洵に感謝に堪へない所でありまして、玆に厚く御禮申上げる次第でございます。

過去におきまして私共の各政府發展につき種々御援助を賜りまして、洵に感謝に堪へません。この機會に重ねて御禮を申上げる次第でございます。どうか今後とも大東亞におきまする經濟發展につきまして、而して又大東亞經濟共榮圈を確立致しますがために、われ〳〵の各政府並にわれ〳〵の各經濟團體、産業團體に對し絶えず御指導と御援助を下さらんことを、この機會におきまして切にお願ひ致して已まない次第であります。

今日の非常時におきまして、あらゆる體制は總て戰時體制化されて居る實情でありまして、この非常時におきまする經濟體制も勿論戰時化さなければならないのであります。戰時化をさせまして、この大東亞征戰の達成に進めることになりますと、茲にいふまでもなく有無相通共存共榮といふ原理の下に、理想的なる經濟共榮圈が建設されなければならないのであります。

この理想的なる大アジア經濟共榮圈を打建てまするには、偏に指導者たる大日本經濟界の閣下各位の御指導と、御援助によらなければならないものであることをわれ〳〵は確信致す次第であります。

どうかこの意味において私共の各政府、各經濟團體を經濟共榮圈建設理念に向いて行くやうに御指導下さらんことをお願ひ致す次第であります。

終りに臨みまして閣下各位の御健康をお祈り致し、併せて大東亞共榮圈、大東亞經濟共榮圈の一日も速かに確立せられんことを衷心から希望致す次第であります。茲に御主人側の盃を拜借致しまして、閣下各位の御健康をお祈り致したいと存じます。

第三日經過記錄

十五日午前九時大東亞會館四階會場にて開會、第一日に引續き懇談會に入る。振鈴、着席議長（林總裁）着席、開會に先立ち靖國の英靈に對し全員起立默禱、次いで議長開會を宣すれば張協和會代表緊急動議ありとて發言を求め、皇軍陸海軍將兵へ感謝決議文の贈呈を計る。議長之れを議題に提示せしところ滿場一致を以て裁決となり感謝文作成は興亞同盟に依囑し會議終了後上程する事に決定、次いで議題「各團體の組織及現狀の概略」の說明に入る。先づ興亞同盟尾崎局長より大日本興亞同盟の組織と現狀についての說明あり、續いて張協和會、林東亞聯盟、周新民會、陳興亞協力會各代表よりそれ〳〵說明あり、終つて議長立ちて議事に入る事を宣し、本同盟山岡理事長提案理由の說明をなす。次いで匝瑳委員長議案「興亞運動徹底化に對する組織の硏究」を朗讀、議長右に對する各團體代表の意見を求め、張協和會、林東亞聯盟、張新民會、吉岡興亞協力會、入江興亞同盟各代表意見開陳あり議案採決に入り起立總員滿場一致を以て可決、日滿華興亞團體會合共同決議案もそのまゝ採擇を得、續いて匝瑳委員長大日本陸海軍に對する感謝決議案の朗讀あり、之れの採決を議長より諮りたるところ之れも滿場一致を以つて採決を得、匝瑳委員長閉會に際し議長の發聲にて　天皇陛下の萬歲を三唱、張協和會代表興亞團體萬歲を三唱して後、議長閉會の挨拶あり歷史的本大會を終る。時に**午後一時十分**なり。

一時半同會場に於ける午餐後見學班の案內にて滿華蒙代表の湯島聖堂の參拜、東京帝國大學の見學あり、各所にて記念撮影を行ひ、帝國大學に於ては平賀總長より學園紹介の挨拶あり、一行を代表して張協和會代表荅辭を述べ小憩の後、電氣工學實驗室、風洞室、圖書館、醫學部標本室を見學、完備せる帝國最高學府の偉容に瞠目感歎しつゝ**午後四時半**同校辭去、後樂園に於ける東京府市主催の園遊會に臨む。同園涵德亭にては岸本市長、松村府知事の出迎へあり純日本式の接待に歡を盡し**午後五時**閉會せり。尚**午後六時**より芝公園**三緣亭**にて各團體代表と主催者側委員代表の特別懇談會をなせり。

日滿華興亞團體懇談會（會議第二日目）

――開會に先立ち滿洲協和會代表
張煥相氏より緊急動議あり――

緊急動議（滿洲帝國協和會代表 張煥相氏） 一昨日の盛大なる披露式を皮切りと致しまして、日滿華興亞團體會合は、愼重且つ和氣靄々裡に進行せられて居ります。これにつきましても吾々の忘れてはならないことは、平和なる環境に興亞のことを議し得るのは一體誰のお蔭でありませうか。こゝで改めて申上げるまでもなく親邦陸海軍の將兵の、忠勇義烈なる御奉公の賜ものであります。大東亞建設の尊き犧牲になられた皇軍將士に對する感謝感激は今更申上げるまでもございません。一方また酷暑燒くが如き南洋の天地に、現に殘敵掃蕩に、或は米英の再攻勢撃滅に寧日ございません。また北邊鎭護に磐石の體制を堅持する皇軍將兵の御苦勞を想ふ時、既に北滿は酷寒の期に入りました。吾々は徒らに銃後の任務の重大なるに甘へてはなりません。先づ第一に第一線の皇軍將兵に感謝の誠を捧ぐべきであります。以上の理由に基きまして此の機會に於て、當然に現地皇軍陸海軍に對し、感謝決議文を、本會合諸團體の名に於て贈呈すべきだと存じます。御贊同を得れば、その決議文作成その他の手續等は、主催者側の大日本興亞同盟を煩はしたいと思ひます。以上。

議事採擇（議長 林銑十郎大將） 只今滿洲國代表張煥相氏から皇軍に對する感謝決議文の緊急動議がございました。これを議題と致したいと存じますが御異議はございませんか。（異議なしと呼ぶ者あり）……御異議ないものと認めまして、議題に供します。只今張煥相氏は決議文の草案は、興亞同盟の方に依賴するといふことでありましたが、これに對して御異議はございませんか。（異議なしと呼ぶ者あり）……御異議はないと認めますので、この案文は後刻作成して、本日の會議の終末に於て、更にお諮り致します。それでは只今より本日の議題に移ります。各團體代表から、「各團體の組織及び現狀の概略」について御說明を願ひます。

組織及現狀の說明（大日本興亞同盟代表 尾崎敬義氏）

これから大日本興亞同盟の組織及び現況について、極く簡單に御說明を致します。簡明を期する爲に、箇條書的に御說明を致したいと思ひます。お許を願ひます。第一に大日本興亞同盟の組織について聊か申上げたいと思ひます。本同盟は昭和十六年七月、六十三の興亞團體を結集して、發足致したのであります。然るに昭和十七年一月十四日の我が政府の閣議決定の趣旨に基いて、同二月興亞團體中の思想運動に關するものは發展的に解消致しまして、大日本興亞同盟の構成分子となつたのであります。隨つて大日本興亞同盟は爾來我が國に於ける唯一の興亞思想團體となりまして、玆に政府と表裏一體の關係を確立するに至つた次第であります。興亞團體中調査研究を主とする團體及び事業の經營に重きを置きます團體は、大日本興亞同盟の中に團體として加盟することになつたのであります。かくて事業を主としまする團體の數は、現在に於ては二十五であります。また調査研究に關

することを主とする團體の加盟數は二十三であります。

しかしてこれらの團體は何れも興亞の思想運動部面に關する限りは、大日本興亞同盟の方針の下に行動することになつて居ります。倘ほ將來に於きましては文化、教育、經濟、及び宗教團體もそれ〴〵整備統合の上に本同盟に加盟することになつて居るのであります。次に本同盟の役員の組織について一言申上げます。本同盟の役員は總裁が一名、この總裁は大政翼賛會の總裁の指名に依るものであります。副總裁は三名、顧問、協議員、審議員、常務理事、理事各若干名でありまして、運營の中樞機關を常務理事に置き、現在十七名の常務理事が、理事長の指揮の下に同盟の萬般の運營に任じて居ります。

しかして議事は總て總裁の衆議統裁に依りまして、一糸亂れざる運營を期して居るのであります。また本同盟は事務を處理致しまする爲め事務局を設けて居りまして、この事務局を九局に分つて居るのであります。即ち總務局、思想局、企畫局、錬成局、運動第一局、これは內地關係のことを司つて居ります。運動第二局、滿洲の關係を司つて居ります。運動第三局、北華蒙疆の關係を司つて居ります。運動第四局、中南華の關係を司つて居ります。運動第五局、南方關係を處理して居るのであります。以上の各局に於きましてその頭に局長を置き、常務理事中からこれを任命して居ります。事務局の職員は現在に於て局長、部長、次長、主事、書記、囑託、專門委員等併せて百十餘名であります。以上で組織の大要の說明を終りたいと思ひます。次に大日本興亞同盟の現況について簡單に申上げます。大日本興亞同盟は結成日倘ほ淺いものでありますから、まだ時期の成果を擧げ得ないのでありますが、本年の七月以來着手し、或は着手を計畫中のものについて簡單に說明を申上げたいと思ひます。第一には支部及び連絡所の創設であります。支部は只今までに大阪、長崎及び門司に創設致しまして、倘ほ

本年度に於ては神戶外數箇所に設置する豫定になつて居ります。連絡所は只今までは上海にこれを設置して居ります。倘ほ本年度に於ては大陸方面に於て三箇所、南洋方面に於て一箇所設置する豫定になつて居ります。連絡所は本同盟に取り甚だ重要なる機關でありまして、これは必要に應じて多々益々これを設置することを期して居るのであります。これに依りまして共榮圈各國の興亞運動と相提携して、所期の目的を達成せんとすることを念願して居るのであります。講演會は本年度に於きまして全國の主要都市三十箇所を選びまして、目下それ〴〵興亞理念に關する講演會を各地に開催して居るのであります。また刊行物と致しましては月刊雜誌「興亞」及び「興亞週報」を刊行致しまして、內地及共榮圈各地に於ける興亞運動の展開に寄與しつゝあります。錬成所は神奈川縣の高峰在に地を卜しまして、大日本興亞同盟專屬の錬成所を新設し來る十一月初旬を期しまして、興亞運動指導者の養成及び訓育に努力する計畫であります。かくて我が錬成所は將來に於ては興亞大學の規模にまでこれを發展させたいといふ考を持つて居ります。次に來年三月の候を期しまして、讀賣新聞社と共同主催の下に大東亞展覽會を開催する豫定になづて居ります。また我が國銃後の實況を共榮圈及び前線將兵に展覽せしむる爲め、朝日新聞社と共同主催の下に、最近寫眞展覽會を開催したいと思つて居ります。その他內地有力新聞社と共同の下に目下興亞運動に關する諸般の計畫を交渉して居る次第であります。又只今開催されて居ります日滿華興亞懇談會の終了を待ちまして、適當なる時期を卜し、政府諒解の下に大東亞各國家各民族の會合を開催致したいと思つて居ります。その準備等については着々進捗中であります。また來る十二月八日の紀念日を卜しまして興亞祭を擧行することについて、目下各方面とも連絡中であります。次に南方に於きまする靑年學徒の留學に對して、こ

れが斡旋をなす爲に、特定の機關を創設することを目下目論んで居るのであります。差當りタイ國の醫科留學生百名が最近我が國に渡來することになつて居ります。これの斡旋等については我が醫學界の權威者と連絡を取りまして、目下諸般の準備の進展を計りつゝあるのであります。終りに、興亞運動は文化教育、經濟、及び宗教等と密接なる關係にあるの實情に鑑みまして、これらの各團體との間に組織的なる關係を樹立することを期待致しまして、前に申上げました如くこれらについて目下種々研究中であります。これはたゞ將來の希望でありますが、必ず近き日に於てその達成を期し得ると信じて居る次第であります。以上をもちまして大日本興亞同盟の現狀に於ける大體の説明を終りたいと思ひます。御清聽を感謝致します。

組織及現狀の説明（滿洲帝國協和會　張煥相氏）

既に御承知の如く協和會は創立以來十年の歴史を經ましてこの間極めて多事多端でありました。若き滿洲國の潑溂たる姿を眺めます時、協和會運動が仕遂げましたる蔭の力の甚大なるを否定出來ないと思ひます。以下極めて概略的でありますが、組織及び現狀を御説明申上げます。

協和會の組織を申上げたいと思ひます。凡そ事物生成發展の當然の過程でありますが、協和會の會務機講は、會運動の進展に即應して、創立以來屢次の改革を行つて居ります。併しながら會の本質、使命に於ては、終始一貫不動のものたるは申すまでもありません。會務機構の中心は中央本部であり、その下部には各省毎に省本部十九箇處新京には首都本部、更に市縣旗には市縣旗本部百九十五箇所を持ち、全滿現在未設置縣旗は僅か二十七箇所でありますが、これは近く設置完了する豫定であります。これら各級本部にはそれ〴〵本部委員會を設置して居ります。會運動に於ける政治性は多くこれに顯現され、これが當然政府の施策に反映すべきものであります。この性格と使命に對して、現實に於てはこれに即應する構成と運營に幾多の問題を包含して居り、これが検討改善に全力を傾注して居る次第であります。更に協和治政の經綸を生む方策として、聯合協議會を市縣旗聯、省聯、全聯の三段階に於て構成して居り、各級聯合協議會共毎年一回開催するのを定例として居ります。これが構成及び運營に於ては逐年進歩を示して居りますが、未だ研究すべき點はまた少くない次第であります。次に直屬團體のことに觸れますと、協和義勇奉公隊總監部、協和青少年團統監部、科學技術聯合部會、開拓部會が現存致します。前二者は義勇奉公隊、青少年團の擴大强化の結果、協和會機構より分區、同じ獨立の指導機構として昨年五月誕生しました。後二者はその職能の國家的重要性の爲に會運動として展開の必要から、昨年末設置したのであります。勿論これらの何れの活動乃至運動も、本來會運動であつて、直屬團體として中央機關の長は、何れも中央本部長を以て充てゝあります。總監部は中央、省、及び總隊の三部を持ち、統監部も亦中央、省、及び市縣旗の三級に分れて居ります。後二者は創立匆々であり、總て未知數でありますが、この種部會の往々陷り易い職業組合的弊害を嚴戒して居る次第であります。次に外廓團體に一言觸れますと、國防婦人會、軍人後援會、滿洲勞務協會及び滿洲赤十字社等があります。協和會としてこの外廓團體の積極的指導を漸次具體化しつゝあります。次に協和會の下部と隣保組織に關して言及したいと思ひます。分會は會運動の下部組織であり會運動の基盤として、これが育成にこそ最重點を指向して居るのであります。分會は地方分會を原則とし、職場分會も例外的に認めてある次第であります。分會數約三千八百分會、會員約三百萬近くを算して居ります。分會の基盤組織に國民隣保組織があり、これは一面行政機構の基盤で

もあります。この隣組も農村には未結成地區も多いのですが、都市中心に結成されて本來五月現在六萬二千近くであります。次に前述の義勇奉公隊は概ね都市中心でありますが、本年二月統計は總隊數七十隊員二十萬であります。青年團數は三千餘、團員數六十萬、少年團は三千七百團、その團員七十五萬に達して居ります。尚ほ少年團員は滿十四歲乃至十九歲、義勇奉公隊員は滿二十歲乃至四十歲の者で組織されて居ります。次に會務職員は各級正副本部長以下それ〴〵の階級を有しますが、員數は直屬團體の職員をも含めて千五百餘名、現地工作員また千五百餘名あります。會運營の豫算は創立當初の大同元年の約八十萬圓から出發して、本年度の國庫補給金は千七百萬圓であり、地方費負擔のものを集めると、二千三百萬圓程度のものになつて居ります。その外に各分會經費を各分會費から徵收して居りまして、また相當額に及んで居ります。次に運動の現狀について一寸觸れますれば協和會は政府と表裏一體となつて、建國理想の達成、道義世界の創建を圖るのが使命であります。この爲に國民運動を展開せねばならんのであります。隨つて協和會を動的狀態に於て、即ち會運動そのものとして理解さるべきであつて、またこの會運動は所謂指導者原理に立脚して居るのであります。隨つてこの觀點から會員の精銳主義を眞劍に檢討中であります。會運動は精神、協和、厚生、宣德、達情、組織、興亞の諸工作に分類して理解され得るのであります。これらの工作內容は省略しますが、目下の會運動の二大眼目は、國民隣保組織の確立と、青少年團の擴充强化にあります。會運動展開には先づ强固なる組織を要するのでありまして、組織の基底が國民隣保組織であります。また青少年團の擴充强化の必要性は說明するまでもないでせうが、これこそ特に最も堅實なるしかも效果的なる建國運動の一つなのであります。また滿洲國に於て會運動として最も成功した一つで

ありまして、彼等の勤勞奉仕、治安肅正工作、或は增産運動等に於ての行動に認められるところであります。又勤勞奉仕制度が最大國策の一として採り上られつゝある今日、實にその基盤をこの青少年團に求めざるを得ないのであります。右の外會運動として、國民精神の昂揚、生活改善、消費節約、貯蓄勵奬、廢品回收、增産集荷、勤勞奬勵、國民體位向上等、國家の諸施策に即應して、凡ゆる運動を展開して居ります。更に宗敎々化團體の動員も國家目的に即應する如く積極的指導に當り、着々實績を擧げつゝあります。會運動と致しまして、目下最も緊要であり且つ困難なる問題として、知識階級の思想對策があります。協和會としては一般農民市民への思想工作は相當效果を擧げて居りますが、知識階級特に學生層への思想工作を今後積極的に展開の必要ありと痛感して居る次第であります。以上を以て協和會の組織と現狀の概略の說明と致します。

組織及現狀の說明（東亞聯盟中國總會　林柏生氏）

東亞聯盟中國總會は民國三十年即ち昨年の二月一日に成立したのであります。組織と致しましては中央に本部があり、各地方に分會があるのであります。本部に於きましてはいくつかの委員會に分れて活動をして居ります。一つは指導委員會、これは組織に關することをやるのであります。次は宣傳委員會。次は文化委員會。それから社會福利委員會といふものがありまして、これら委員會の外に、事務上の仕事をする秘書處があります。中國總會の會長は中國國民黨の主席でありますところの汪先生が兼任せられて居ります。會長の下に理事會があります。この東亞聯盟中國總會は中國國民黨を中心としたところの一つの運動でありますが故に會長は國民黨の主席が兼任せられ、而して單にこの仕事は國民黨のみの仕事ではなく各黨各派を參加せしめて居る運動でありますが故に理事會、幹事會は各黨各派の興亞の同志に參加して貰つて

居ります。地方分會と致しましては、それ〴〵各省竝に特別市に分會を設置、しかしてその下の縣などにも分會を置くことになつて居りまして、今や南京分會、上海分會、廣東分會、武漢分會、徐州分會、蘇州分會等成立致しまして、その他の地方もそれ〴〵分會設立の準備委員會のやうなものを拵へて、それ〴〵設立中であります。三十年二月一日この總會成立以前に於きまして、旣に南京と廣東の兩地は東亞聯盟の組織があつたものでありますが、東亞聯盟中國總會成立後これを解消させて、南京分會、廣東分會といふことにしたのであります。今や各分會共に努力して下の方の組織をして居るのであります。宣傳方面について申上げますれば、出版物と致しまして北京に東亞聯盟といふ雜誌が發行されて居ります。總會に於ても東亞聯盟といふ雜誌を出しました。それが最近に至りまして國民政府宣傳部でやつて居る大亞洲主義といふ雜誌がありまして、性質が同一でありますが故にこれを合併致しまして內容を充實して、大アジア主義と東亞聯盟といふ表題にして、旣に出版をして居ります。その他各新聞雜誌とも、各紙每に東亞聯盟の特刊所謂特別記事欄を設けまして、東亞聯盟指導理念の宣傳に努めて居ります。各分會にもそれ〴〵直接或は間接の出版物が澤山あります。友邦の興亞同盟の種々なる出版物に現はれて居ります言論も、吾々のこの機關雜誌に飜譯致しまして繼續して發表して居ります。三十年度は大體に於て思想宣傳の段階でありました。その意味に於て專ら思想宣傳に努めたのでありましたが、外の方の仕事もそれ〴〵やつて居ります。南京分會、廣東分會並に武漢の分會の如きは、早くから青年の訓練組織を致しまして、青年に興亞の意識を與へるいろ〳〵の組織訓練講習會のやうなものを擧行して居ります。もう一つ皆樣に申上げて値打のあると思ふことは、大東亞戰爭勃發前我が東亞聯盟の廣東分會に於きましては、有力なる代表を澤

山出しまして、安南、シャム及び南洋各地方に參り、吾々の興亞の理念を宣傳して來たのであります。本會の活動について注意して戴きたいことは、本會と國民政府とは表裏一體のものであり、同時にまた中國國民黨とも表裏一體のものであるといふことでございます。かういふ意味でありますので、本會の指導委員會は、中國國民黨の組織部長がこれを兼任し、宣傳委員會の主任委員は、不肖私、卽ち中國國民黨の宣傳部長であり、同時に國民政府の宣傳部長である私が兼任して居り、社會福利委員會の主任委員は、これまた中國國民黨の社會部長、同時に國民政府の社會部長、その後改めましたが、兼任して居るのであります。何故かういふことに致したかといふと、この東亞聯盟中國會の最高の指導原理は、中國の國父孫中山先生の大亞洲主義に基いて居るが爲めであります。吾々中國國民黨と致しましては遠き昔から孫中山先生の主義を奉じまして、興亞の爲に邁進して來たのであります。革命開始當時から、この間申上げたやうに興亞といふ文字も使ひ、氣持も持つて居りまして、四五十年來、專ら吾々はこの運動に奮鬪して來た關係上、吾々はかういふことをしたのであります。何故かくの如くそれ〴〵國民黨の部長、政府の宣傳部長、それ〴〵の部長が兼任するか。或は考へ樣に依ればこれは本會の活動そのものを弱くする原因にはならないかといふ疑ひをもつかも知れませんが、吾々はさう思つて居りません。吾々は寧ろかういふ風にして初めて吾々のこの組織が强化され、この理念が徹底されるといふことを信じて居るのであります。故に吾々は國民政府に於て宣傳するといふことは、同時にこれは東亞聯盟の宣傳であると心掛けて居り、中國國民黨で宣傳して居ることは、同時にこれまた東亞聯盟の宣傳でありまして、東亞聯盟の宣傳も、國民政府の宣傳も中國國民黨の宣傳も一つであるのであります。同樣に社會運動の方面に致しましても、國民黨の運

動方法も、東亞聯盟の運動方法も、政府そのものの社會運動指導の方法も同一の方法であり、同じやうな相關聯したものをもたせるといふ意味に於て、これを强化することはありましても、弱化せしめることはないと思つて居り、事實がまたそれであります。我が東亞聯盟の成績は、若しこれを表面上の總會或は形式に現はれて活動そのものを見て戴きますと、或は物足りないとお考へになるところがあるかも分りません。併し東亞聯盟の思想がどれだけ一般の民衆の心に中に刻まれて居るか、潛在して居るかといふことは、十分御調査になるとお分りになると信じて疑ひません。東亞聯盟中國總會が中國にありまして決して局部的の小さ 團體ではないのでありま す。國民政府が全力を擧げてこれを支持して居ります。中國國民黨が全力を擧げてこれを指導し、一般民衆をしてこの思想に向はしめて居るのであります。中國國民黨の地方の黨支部のあるところは、何れも東亞聯盟中國總會の支部のあるところだといつて差支へありません。

中國國民黨の會員は、何れも、東亞聯盟中國總會の會員であるといつても差支へないのであります。中國國民黨が一日存在して居れば、その存在して居る期間中だけでも東亞聯盟運動といふものが生きて居るのであり、國民黨員が最後の一人に殘つても、その一人は興亞の同志であるといつて差支へありません。時間の關係上極く簡單に中國總會の狀況の報告を申上げたのであります。

組織及現狀の說明 （中華民國新民會代表 周敦信氏）

中華民國新民會の組織及び工作概況。一、新民會の沿革、中華民國新民會は華北の國民組織指導體として新民精神に基き中華民國臨時政府設立に遲れること十日、卽ち民國二十六年十二月二十四日、行政組織と表裏一體の關係に於て、華北一億民衆の輿論を負ひ設立したのでありま す。その後汪精衞主席閣下和平建國を唱導し、二十九年

三月新民政府は南京に遷都をなし、政府を組織するに至り、こゝに於て北京中華民國臨時政府もまた華北政務委員會と解消し、その傘下に入ることになりました。この間新民會もまた二十八年八月機構の改革、强化を行ひ、華北行政委員會と表裏一體的立場を强化したのであります。民國二十九年十一月三十日、中日基本條約締結され、中華民國南京政府は國際的に承認されるに及び、新民會もその內容を整備强化し、三十年五月及び三十一年、卽ち本年一月兩回に亘り、中央、地方の機構改革を斷行致しました。將來に於ける新民會の目標は、一、新民精神の發揚、二、新國民運動の實踐、三、革新勢力の確立、四、東亞民族の團結、五、世界新秩序の建設、この五項に置くものであります。次に新民會鍊成、かくの如くして新民會は今や創立こゝに五年、その間機構、人員、工作その他に於て飛躍的發展を遂げたが、會員の鍊成、現段階に於ける各般に亘る工作概況を示せば次の如くであります。（イ）會務執行機關、會務執行機關として中央總會を設け、地方には中國の司法行政制度に准じ、道、省、縣、市、特別市に各級總會を設けたのであります。その總會長は各地方長官を以て兼任したのであります。次に辦事處を設置し、九月末現在に於ける各級總會の數は次の如くであります。省總會四つ、內容、河北省、山東省、河南省、山西省、道總會二十三、特別市總會三、北京、天津、青島、縣市總會三百六十三、縣辦事處、市部辦事處を含む。駐日辦事處、東京にありま す。（ロ）分會及び會員分會は新民會組織の基本單位にして、會員を地區別、職業別に於て組織するのである。會員は正會員と協贊會員とに分れて、會の任務達成の爲に指導的、責任的中核とするものであります。三十一年度現在の分會數及び會員數を示せば次の如くであります。農村分會數一萬三百二十、正會員九十七萬六千三百、協贊會員數二百八十八萬六千六百、合計三百八十六萬三千

八百、商業分會數千五百五十、正會員數十九萬九千、協賛會員數三十九萬千四百、合計五十九萬四百。特工業分會、この分會數は六百四十、正會員數三萬四千三百、協賛會員數一萬四千二百、合計十一萬八千五百。教育分會、この分會數は千百二十、正會員は四萬七千九百、協賛會員二十一萬四百、合計二十五萬八千三百。官公吏分會、分會數は千二百十、正會員數七萬五百、協賛會員數十四萬三千三百、合計二十一萬三千八百。宗教分會、この分會數は百七十、正會員數二萬二百。協賛會員數九萬九千、合計十一萬九千二百。その總合計數各分會一萬五千十、正會員百三十四萬八千、協賛會員數三百八十一萬五千九百、合計五百十六萬三千九百あります。(八)華北交通分會の結成、大陸開發の根幹たる交通鐵道、自動車、水運の運營の衝に當る華北交通は、全社員十一萬を以て昨年八月新民會々員に加入せしめたのであります。その次は青少年團、自衛團その他、全華北に亘る新民會各級總會傘下の新民靑年團、少年團、處女團、扶助會、並に自衞團員の三月末現在の數は次の如くである。一、青年團員數七十五萬、少年團員數二十六萬三千、處女團員數六萬九千、扶助會員數十一萬二千、自衞團員數八百五十七萬五千三百二十あるのであります。次は訓練所、中央訓練所は全農團中央訓練所あり、青年男女訓練所あり、全男女中央訓練所の三訓練所に分れて居る。地方に於ては省、道、縣、特別市の各級總會には、青年訓練所の設置もあつたのであります。これに依つて訓練された卒業生は、今まで總數約五千四百に達したのであります。その次は委員會、各級總會には委員會を設け、地方有力者並に會の幹部を以て組織し、會運動の中核をなすのであります。その次は聯合協議會、政府と表裏一體の運營、即ち上意下達、下意上達の徹底を期する爲め、各級總會に於ては聯合協議會をもち縣市道省の各聯合協議會を年一回開催するのであります。中央に於ては全國聯合協議

會を來る二十七日北京に於て開催することになつたのであります。現在華北に於ける中國共產黨軍の殲滅に當る爲め、新民先鋒隊の組織があります。これは新民精神の理念を以て、愛鄉愛黨の理念を訓練して、これを以て共產黨軍の地下工作を粉碎するのであります。その他外廓團體として、華北合作事業總會があります。省縣に於ては省縣合作社聯合會も置いてあります。その次に華北工作會の組織もあります。所謂經濟工作、勞工工作たる勞工動員の體制を完成する爲めの指導に當りつゝあるのであります。以上述べた組織の現況は、我が新民會が如實に過去に於て建設し、現在如實に組織されて居るものであります。この工作を實施するに當つて、吾々同志三百名がその犧牲となつたのであります。然れども華北の現況は尙ほ安定の境地に至らず、吾々はこの組織を更に强化强力化して、中國共產黨の核心にまで滲透せしめこれを破摧しなければなりません。故に昨年より本年にかけ百回の治安强化運動を實施進行中であります。しかも尙ほ吾々は更に華北の青少年團をして、所謂青少年運動に移らしめんとしつゝあるのであります。これを稱して吾々は大東亞解放新國民運動をなすものであります。その目的とするところは保、養、敎であります。保民は剿共、淸鄉を目標とし、民衆の自衞力を養成し、國民の組織を培植するのであります。養民は勤儉增產の意旨に基いて農村を復興、國民の生活力を增進し、敎民は會の理念と精神に依つて東亞解放の意義に基き啓蒙運動を展開し思想戰に依る國民生活と思想を革新するものであります。かくして華北の國民組織が完成したる曉には、これと中支に於ける東亞聯盟運動の展開に依り中支の國民組織が完成さるるを待ち、全中華を打つて一丸となし、更に躍進して大日本興亞同盟を中心とする大東亞の國家群の組織を完成し、こゝに初めて大東亞解放の實現に到達せんとするものであります。以上を以て中華民國新民會の組

織及び概況の說明と致します。長時間御清聽を煩はし有難うございました。

組織及現狀の說明 （蒙古興亞協力會代表　陳玉銘氏）

蒙疆側では通譯の都合がつきませんので私（張家口日本居留民團長　森岡正平氏）が代つて只今のお話の趣旨を申上げることにいたします。何分原稿が漢文であつて、早急の際これを口語體に直して申上げることは私としては一寸困難でありますから、漢文の直譯體で申上げることにいたします。

察するに蒙古地方は資源豐富、牧畜耕耘盛大、人民勃興、地方は內蒙を含み、而して晋北、察綏を含み——晋北は山西の北部、察は舊察哈爾地方、綏は綏遠、現在の厚和を指す——民衆七百萬人、曾ては惡政の下にあつて、發展すること能はず、事變終結より六箇年皇軍の援助を被り、治安良好、政治は日に明朗に趨き而して今日の隆盛あり、又友邦の指導するところに依り、茲に各方面の協力指導を受け、洵に感激萬分を覺ゆ、況んや大東亞戰爭連戰連勝、既に至大の效果を收む、而して勝利を得るに至る、自ら言を俟たざるなり、然り而して我が蒙古地方は大東亞共榮圈の一翼たり、利害關係相分離するべからず、既に〱興亞運動團體を樹立せり、即ち本年一月厚和市に於て興亞協力會を成立する、是なり、是より蒙疆の民衆は既に興亞運動の必要に鑑み、各地に於て興亞協力各團體を組織し、本年既に興亞協力總會を成立す、即ち各地の興亞團體を以て完全に吸收し、而して是が統一の實行を圖る、

茲にその組織及び工〃〃概要を簡略に說明せん、本會總會は張家口に設立し、重點は民衆團結し、總力を發揮し、興亞の大業を助成するを以て目的とす、察南、晋北以外の所謂純蒙古、內蒙地帶に五箇の盟公署を設けあり、察南、晋北兩箇の政廳管轄下の地內に分會を設立

し、各市、旗、縣、公署、所在地にありては支會を成立す、先づ官吏より會員となり、經費は政府より補助す、その工作の顯著なるものは本年四月三日、本會は、日本青年興亞同盟（蒙疆限りに作らる）團體と張家口各會員等共同協力の下に、軍用飛行機獻金運動を開始し、總額百十萬圓に達し、親しく蒙古中央軍司令部に於て獻納式を擧行せり、又本會は興亞運動徹底の爲め危險を冒し、全蒙疆にあつて既に三回に亘り施政躍進週間を實行し、本年三月全體民衆大會を招集せるを除くの外、各市、旗、縣にあつては每月興亞運動講演を開催し、又每月八日を定めて興亞奉公日と爲し、節約を勵行し、廢品を回收し、清潔、掃除、飲酒、娛樂を除き、各市內各學校、青年及び市民を集めて興亞建設體操を實施す、各興亞團體はこの日に於て神社に參拜す、又本會は民衆の體位向上を圖らんが爲に又各市內縣路を修理せんが爲め、民衆より勤勞奉仕を爲し蒙疆人又數十回に亘り勤勞奉仕を爲せり、本會は又興亞運動推進實行力向上の爲め、各市、縣、旗內に青年訓練所を設置、各村に又青少年團あり、治安上種々の工作に協力す、又本會は政府の施政目標に隨伴し、產業開發を圖るが爲め、各縣に農事講習會を開催し、又日本語普及の爲め日語學校を設立せり、又本會は戰時經濟體制の爲め、政府の施政方針に從ひ、各都市に物價調整委員會及び輸入組合を興し、既に物價調整の懇談會及び講演會を開く、これを要するに本會は成立以來興亞を以て最大の目標と爲し、政府と表裏一體、實踐躬行、聊かも怠慢するなきなり、この度大日本興亞同盟の主催に依り、各興亞團體一堂に參會し、互ひに相討論し、而して興亞運動の具體化を圖る。我が蒙疆代表も又參列、參加を得、洵に無上光榮の至りを覺ゆ、茲に能く各位の誘掖指導を得るに至らば更に感謝盡きずとなす。以上述ぶるところ禮を失するありや否や、大略の現狀報告にて御許しを乞ふ、更に今後の支持以て及ばざるを救ふ

を望む、至感至謝、終り。

議長議案提出（林銑十郎大將）　それでは只今より議事に入ります。御手許の議案を御覽願ひます。

理事長提案理由說明（山岡萬之助氏）　只今提案になりました興亞運動徹底化に關する組織の研究につきまして提案の理由を說明いたします。昨日三國共同宣言具體化の運動方策が決定されまして、その際に說明いたしました一般的の理由は茲に再言することを避けますが、凡そ興亞運動の徹底につきましては、その組織を研究確立することが緊要のことであると信じます。日滿華は、東亞に於て同文同種、密接不可分の關係にあり、脣齒輔車、互ひに協力すべきであります。斯く密接不可分の關係にありまする以上、將來興亞運動實踐の爲には、興亞諸團體の組織は、その大綱におきましては共通いたして居ることが實績を擧げるに適當なりと考へるのであります。しかし、現狀にありましては只今各代表より御述べになりました通り、各團體各々成立において、又各々特質を存するのでありますから、今日は現在の儘の組織の下に、緊密に連絡を致しまして成果を擧げることが適當であると考へまして、提案いたした次第であります。何卒御檢討の上全會一致御贊成あらんことを希望いたします。

委員長議案朗讀（匝瑳胤次少將）

興亞運動徹底化に對する組織の研究

興亞運動展開には共同理念の把握が必要である。この共同理念は大東亞の興隆に歸一せしむるものでなければならぬ。

今日、日滿は一德一心、日華は同甘共苦たり、將來三國興亞團體の緊密なる結成を見るに至らば、興亞運動の

中核體として有力なる推進力を持つべきは言ふまでもない。かゝる結成の具現には三國民が共同の理念を確保し、其の理念の下に共同の運動を展開すべきである。

而もこの共同の理念は亦他國家他民族も悅んで之に共鳴するものであらねばならぬ。從つてこの理念は人類の福祉を增進し世界平和の確立に對して徒らに一國の利害に執着し一民族の主張に基調を置くものでなく、之を中外に施して悖らずこれを古今に通じて謬らざる普遍的の大道であらねばならぬ。そこに我が肇國の大精神たる八紘一宇の理想即ち萬邦其の所を得、兆民其の堵に安ずる惟神の大道が存するのである。而も此の大道は我が皇祖皇宗の遺訓であつて悠久萬古を一貫して渝らざる皇謨であるのである。その大道の實現あつて始めて興亞の大業は成就し世界の新秩序は建設せらるるのである。大東亞の安定を確保し之が興隆の基を拓くは地理的にも歷史的にも將また經濟的にも日滿華三國が相協力して其の中核體を結成する事が先決要件である。日滿兩國の關係に於ては曩に滿洲建國十周年記念式典に當つて、　皇帝陛下の下し賜ひたる勅語に於て「爾等宜しく克く朕が意を體し至誠一貫仰ぎて神庥を迓へ祇みて明命を承け親邦の天業を奉翼し以て世界の平和達成を期せよ」と仰せ出され、日滿兩國は死生存亡斷じて分離せざる鞏固なる紐帶の結成を明かにし給ふ。

又今回の我が答訪使節に對する汪主席の頌詞中「貴我兩國は數千年來共に道義を尊び一昨年締結せる條約もその根本精神は即ちこゝに存す。今後は益々道義に基き互助互愛以て東亞の實現を圖るべし、貴國はいま將に力を米英侵略勢力の驅除に致し、その任や重く、その責や大なり。本國政府は貴國と艱難を共にし、全力を擧げ誠意を以て協力せんとする決意なり。蓋し本國政府は貴我兩國が安危を共にし、存亡を同じうするものにして深厚なる國交は必ず永久に垂るべきものなる事を信ずればなり」

とあるは、正に日華兩國同甘共苦して大東亞戰を勝ち拔き、大東亞共榮圏の建設に當らんとする固き決意を明かにしたものである。只、中國にては尙重慶政權が無益の抗戰を續け敢て東亞の大勢に逆行してゐる事は中華民國のため眞に遺憾とするところである。

曩に我が政府は日滿華共同宣言發表と同時に聲明を發し「そもそも本條約の意義たるや世界を擧げて新舊秩序相交流する一大混亂期に當り眞に相愛の大道に立脚し、天與の分を守り、有無相通、共存共榮の世界新秩序建設の先驅たるを明かにするものにして東亞民族の欣快これに過ぐるものなからん。然りと雖締盟の成立に事の初動に屬す。その實效を收むるは今後にあり」と國民の聰明と努力とを要求したのである。

かゝる三國の意圖は大東亞共榮圏の確立に對して牢固として拔く可からざる決意をなしてゐるのであるが、更に之が實效を收むるには三國國民に於て興亞の大業を理解し國民相互の心携に依らなければならぬ。茲に三國懇談の機會を作り虛心坦懷共に今後の運動に協力する組織を協議するは現下喫緊の要務たるを信ずるのである。之が爲め大日本興亞同盟は左記の提案を爲す。

現在の組織の下に今後の連絡を密にする事

之が爲の連絡員を通報する事

滿洲帝國協和會代表意見開陳（張煥相氏）只今拜聽致しました提案理由の御說明と議案に記載されてある詳細なる說明文とに依りまして、本案の意圖を說いて居り、全く間然するところございません。本代表は衷心より本案に對し贊意を表明する次第であります。即ち便法として各團體の現在の組織を前提として今後の連絡を密にすることは絕對に必要であり、先づこれが爲め相互に連絡員を通報することに關しましては速かにこれが實現する必要があると存じます。

この際協和會代表として興亞運動徹底に關する議案、上提されましたる機會に於きまして一言所見を開陳いたしたいと存じます。

先般來連日各代表に依り興亞運動に關する日滿華興亞團體の意思の統一、相互連繫の緊密化が叫ばれ、且又今や議論の時代にあらずして、總てが實踐力の如何に繫がつて居ることは、これ又各代表が力強く、眞劍に提唱されまして、私共としてその歸一するところ今や明白であり、旣に東亞興隆への總進軍の力強き跫音を早や耳に聽く氣がいたして來るのであります。私共茲におきまして今一度自己の足下を振返つて踏み締めたいものであります。即ち自己の陣營內の國民運動に國民訓練に間然するところなきか、洵に途は近かきにあります。この意味におきまして我が滿洲帝國協和會は複合民族國家に即應する國民運動を堅實に展開し、或は訓練と化して、道義國家の完成に向つて邁進を誓ひます。私共が冷靜に東亞の將來を展望するとき、滿洲國完成の如何こそ、實に東亞共榮圏成否の鍵であることを確信するものであります。特に協和會が國內唯一、永久の國家團體として當然、國民運動及び訓練の對象に國內各民族と等しく包容する性格を想ふとき益々その責務の重大性を痛感いたす次第であります。

本案の便法の如きは昨日決定を見ました五項目の具體的なる運動方策と共に當然必要とするものであり、將來に於ては更に一層具體的なる興亞運動の進展と共に組織等も自ら更に積極的方策を要請されるに至らんことを確信する次第であります。

東亞聯盟代表意見開陳（林柏生氏）興亞同盟の御提出に係かる興亞運動徹底に對する組織の硏究に對しましては、私は完全に同意するものであります。只今提案の一節を朗讀されました時に、吾々をして非常に衷

心より心を傷めしめたことがございます。それは即ちかういふ局面に居りまして尙ほ我が中華民國におきましては間違つた思想の持主の重慶政權の存在があるといふことであります。重慶に米英の走狗となる一部の奴が居り、米英の離間跳發に乗ずる奴が居ります爲に、今尙ほ全面的和平が成功し得ない、實現し得ない、大東亞戰爭といふこの意義ある戰爭に對し、我が中華民國といたしまして、全力を出してこれに協力し得ないといふことにつきましては、吾々は重ね〴〵感慨無量と共に且つ慚愧に堪へないと思つて居るのであります。しかし私共は玆に極めて丁重に、嚴肅に吾々の決意を表明いたします。吾々は必ずや最大なる決心を以て最大なる努力を以て間違つた重慶政權を撲滅するのであります。必ずや吾々は最大の努力をいたしまして、永遠に吾々中日滿の間におきまして、米英の離間跳發に乗ぜられることのないやうに努める積りであります。必ずや吾々は中國を一團とならしめて完全なる和平統一を實施する積りであります。四億の全民衆の全力を擧げて、先進國日本がやつて居りますこの意義ある大東亞戰爭に協力する決心であります。重慶に居る僅かなる米英の狗に甘じて走る奴、或は離間跳發に乗ぜられる彼等は必ずや米英と共に滅亡するであらうと信じます。中華民國は一つの國であります。興亞の爲の一つの國であります。四億五千萬の人は一つであります。興亞の爲には一つであるのであります。吾々は必ずや吾々の全國の力量を一つにして、全國四億五千萬人の力を一つにして、先進國日本に協力し、大東亞戰爭に協力する決心であります。願くは東亞に於ける各國各民族も全力を擧げて一致團結いたしまして吾々の共同の敵に向ふやうに願ふのであります。この意味に於きまして原案の提案者であります興亞同盟のこの趣旨に基きまして、吾々今後緊密なる提携をする爲にあらん限りの力を出してこれを完成し、これが實現に邁進する決心

であります。

新民會代表意見開陳（張子鈞氏）　中華民國新民會代表一同はこの第二號議案に對し全體一致贊同するものであります。これに贊同するのみならず、只今提案理由の朗讀を伺つてから特に多大なる感動を享けたのであります。提案理由には、興亞運動展開には共同理念の把握が必要である、しかもこの共同理念は他國民、他民族も喜んでこれに共鳴するものであらねばならん、隨てこの理念は人類の福祉を增進し、世界平和の確立に對して徒らに一國の利害に執着し、一民族の主張に基調を置くものではなく、これを中外に施して悖らず、これを古今に通じて謬らざる普遍的の大道であらねばならんといふ、この一節は正に中日滿三國國民の言はんとして未だ言はざる言葉であつて最も透徹し、最も適切なる、單刀直入的の言葉であります。次いで說明文の中に、特に貴國の擧國一致、忠誠を捧げ、うつせみの神と仰がれます　天皇陛下の御勅語を引用し、更に滿洲國建國の君である康德皇帝陛下の御勅語を引用し、更が我が中華民國四億五千萬民衆の爲め、否大亞細亞復興の爲に凡ゆる苦難を克服しつゝ、精勵奮鬪して居る汪主席閣下の東方視察に對する談話を引用して居るに於ては、益々誠實なる、懇切なる、肝膽を披瀝した表現であると信じます。吾々はこの誠實溢るる態度に依つて、この徹底せる理念を把握すれば、興亞運動は必ず具體的に且に活潑に展開するものであり、協力の爲に結成する組織も必ず迅速且つ圓滿に確立し、所謂東亞共榮の大業も、戰爭の最後の勝利に伴つて完成するものであると私等は確信するのであります。尙ほ重慶政權が無益なる攻勢を續けて居ることに依り、中日兩國の全面的和平が未だ完成せざることは洵に吾々として苦痛に堪へない次第であつて、且つ曩に我が中國總會林閣下が我が四億五千萬民衆の決意を言

はれましたやうに、吾々中華民國新民會もこれを同様に表示したいと思ひます。尙ほ玆において私達は、我が新民會副會長の話をお借りして、結論といたしたいと思ひます。この話は丁度昨年大東亞戰爭勃發してから二週間目、十二月二十四日に、我が新民會が臨時全體聯合協議會を開催した時に、副會長が次のやうに話されました。四年有半の嚴肅なる教訓を經驗した中日兩國の有識、具眼の士は、共存することに依つて共榮が初めて出來、一國が傷くと、必ず兩國共に失敗を招くことをはつきり認識して居り、同時に中國が生存を求め、日本が發展を求めて居る二つの欲求を聊かも衝突させないばかりか、相扶け、相携へて進まなければならんことであり、中國の生存を脅し、且つ日本の發展を阻害して居るものは吾々共同の敵、米英である、この大東亞戰爭の勃發こそ百年來の汚名を清算する絶好の機會であり、何で我等に躊躇逡巡の餘地がありませう。吾々はよく知つて居る、重慶政權の崩壞は援蔣路の斷絶に依り已に必然的である。しかして吾々の希望するところは事實の表現に依つて抗日民衆の迷夢を消滅せしめ、戰果の進展に依つて抗日思想を絶滅せしめ、幾百萬の同胞をしてその銃砲を吾々の外敵共同の敵である米英に向はしめねばならん、中日滿三國は同心協力して外敵に當り、我等の全知全能を傾注し、如何なる犧牲をも惜まざれば、必ず最後の目的に達す、東亞をして我等の東亞に歸せらるべきである、以上は吾々新民會及び五百餘萬の全員、華北一億民衆の本意であることを謹んでつけ加へて置きまして、興亞同盟各位の御指導を願ふ次第であります。終り。

興亞協力會代表意見開陳（吉爾嘎朗氏）　本日提案の興亞運動徹底化に對する説明は洵に結構で、御趣旨の點におきまして、吾々も全く同感であります。抑々興亞運動をなすに當つては、その根本理念が存在し且つ確

立されて居らなければならない事は勿論であります、一二の運動を展開しますにも根本理念の確立は當然一如不可分のことであると存じます。吾々はこの根本理念の把握なくて、一體何を基準とし、何を目標として運動をなすことが出來ますでせうか、今日世界の思想狀況を通覽いたしますのに、米英は個人的、功利的、自由主義の世界觀の上に立つて世界の大部分を支配して參りましたがまたコミンテルンも共産主義の基本理念に立つて世界革命を企圖して居るのであります、この二つの基本理念は我々の基礎とは根本的に相容れない思想であります。これ即ち吾々の敵であります。吾々は現に大東亞戰爭を通じ、自由主義の英米勢力と戰ひ、一方コミンテルンの思想的侵略を排除するが爲に戰つて居るのであります。この二つの思想に對抗する爲には、どういたしましても、吾々自身がこれに對抗し得る基本理念を把握して居らなければなりません。これなくして思想戰の勝利者とはなり得ないのであります。この意味におきまして提案説明中の興亞理念の把握といふことは洵に必要なことであります。しかもこの興亞理念は人類の福祉を增進し、延いては世界平和の確立に寄與し得る普遍的な大道であつて、廣く總ての民族總ての國家が喜んでこれに共鳴し得るものでなければならないことは説明の通りであります。この興亞理念が八紘一宇の大理想、即ち萬邦その處を得、兆民その堵に安んずるところに存するとせば、須らくこの大理想を如何に實現するか即ち具體的構想は如何になるものであるかといふことが判然させられなければならぬのであります。右につきましてはそれ〴〵各地域の性格を研究し、これに即應する構想を定めなければならないのであります。しかして初めて興亞國民運動も本當に軌道に乘り、强化發展することが出來ると信ずるのであります。我が蒙古の地域は、先日御挨拶の際にも申上げました通り、防共の第一線であり、中國共産黨と

コミンテルンとの勢力を眞近に控へ、我が蒙古軍並に蒙古政府官民は皇軍の御指導の下に全力を擧げてこれが排除撃滅に挺身し居る次第であります。毎日毎月幾多の尊き犧牲を出して居る狀況であります。即ち蒙古は防共の挺身隊であります。殊に興亞運動につきましては一番早く參加して居る次第であります。何故なれば、我が蒙古は成吉思汗紀元七百三十年即ち今より七年前から微力ながら自發的に日本の興亞の聖業に協力し、一面我が管內に於きまする各民族の平等的復興を圖りつゝ今日に至つて來たのであります。以上申上げましたやうに、蒙古は防共の第一線に立つて居りまして、防共の挺身隊であるといふことと興亞運動に早くから自發的に參加して參つたといふ、この二つの點につきましては、吾々といたしまして、これこそ蒙古の特殊事績ではないかと思ふのであります。興亞理念を把握いたしまして、この防共第一線に立つて居る蒙古の特殊性を考へなければ、蒙古における興亞運動は到底出來ないと私は思ふのであります。蒙古民族といたしましては、曾て成吉思汗時代に歐洲まで攻めて參りました時より、餘りに民族分布が零細で、文獻に依りますと、歐洲に居る蒙古民族は五百萬位で、重慶政權の下に壓迫を嘗めつつある蒙古民族、寧夏、甘肅、清海、新疆あたりに居ります蒙古民族としてまだ百萬以上居ります。殊に共産主義の下に壓迫されつつある外蒙人民共和國の蒙古民衆は百萬、又ソ聯の中に居るブリヤート共和國の蒙古人として五六百萬居るといふことであつて、これらの民族全部を合せますと、一千萬に垂んとする我が蒙古民族は今日まで何等まとまりがつきませず折角大東亞戰が勃發されまして亞細亞民族を解放するといふ理念に向つて努力して居るところにこれらの多數蒙古民衆が我々の傘下に參りまして、大日本の興亞聖業に參加されないことは、私共蒙古人として洵に遺憾も甚しいことと存ずるのであります。次に私の思ひますことは先程申上げました思想戰でありますが、今日この思想統一を圖る爲にも、又敵性勢力を打倒するが爲にも、武力戰に相平行して興亞運動が必要であることは言ふまでもないのであります。興亞理念をしつかり把握した上で、この組織の强化擴充を圖るべきであります。しかし尙ほ興亞運動たるや、一地域の運動のみを以てではその目的を達成することは不可能でありまして、互ひに協力するのでなければ、成果を擧げ得ないのであります。例へば蒙古の立場からいたしますと、北支と滿洲國とは共同の共産勢力を控へ、重慶僞政權の勢力に對しては北支、中支の各地域と共同の利害關係を持つて居る次第であります。隨て各地域の興亞運動組織が互ひに連絡を緊密にし、一體となり、行動することに相成りますれば、その本來の機能を發揮し得る點に於てどれ程利益があるか知れないのであります。この意味に於きまして私は御提案の各組織の連絡の强化といふ點につきましては衷心から贊意を表する次第であります。尙ほ最後に二三申述べて置きたいことは、その一として日滿華の興亞運動の中核が强化されるならば、第一線に立つ我が蒙古の興亞運動の展開においても助かるので、我が蒙古として、昨日も贊意を表しましたやうに、この日滿華の中核の强化に對し、非常な期待を持つて居る次第であります。次に二として、興亞理念を可及的速かに大東亞共榮圏內の各民族にも普及徹底せしめ、單なる日滿華のみに止まらず全亞細亞に亘る廣汎なる興亞團體を結集いたしまして、その大會を毎年開催せられたいといふことであります。第三といたしまして、興亞運動徹底化に對する組織の研究として、單なる連絡の强化といふことに止まらず、この組織の研究といふ點からもつと各地域の組織の內容を十分研究討論し、各地域の現狀に卽應する興亞團體としての使命を十分發揮せしめるやう、それ〴〵自發的生成發展せしむるやう御討議研究を十分せられることが必要

と思ふのであります。以上希望を幾つか加へて申述べた次第でありますが、何等かの御參考になれば幸ひこの上もないと存ずるのであります。甚だ長いことを申上げまして失禮に當りましたかも知れませんがその點どうか御諒承下さいまして、悪しからず御許し下さるやう御願する次第であります。

大日本興亞同盟代表意見開陳（入江種矩氏） 只今御提議に相成りました興亞運動徹底化に關する組織の研究につきましては、私は日本側委員を代表いたしまして一言玆に贊成の意見を開陳いたします。昨日の懇談會におきまして、提案せられました日滿華三國宣言具體化の爲の運動方策は幸ひに全委員各位の御贊成の下に原案通り可決に相成りましたので、本日はその運動の徹底化に關する組織の研究が議題と相成つた次第でありまして洵に當を得たる順序と存じます。即ち興亞運動の具體的方策の決定を見ましたる上は、その運動として一層强化せしむる爲には、組織を研究確立いたしますことは緊急不可缺の事柄でありますことは固より言を俟たぬ次第であります。思ふに興亞運動の徹底化を圖りますには、その中核たるべき日滿華三國が緊密に提携いたし、强力なる推進力を持たねばなりません。即ち日滿は一德一心であり、日華は同甘同苦と申しまするか、眞に固い結成の下に共同の理念を確保いたし、協力戮力、眞摯なる運動の展開に邁進いたさなければならないのであります。この共同理念こそは興亞運動の推進力であり、しかもそれは正に我が肇國の大精神であります八紘一宇の皇謨に歸せねばなりません。抑々大東亞共榮圏の建設は一國一民族の利害得失にのみ執着してはなりません。實に世界全人類の道義的なる安寧福祉を增進いたし、世界の恒久平和を確立するを以て理想とする所謂天の大道であります。萬邦をして各々その所を得せしめ、兆民をしてその堵に

安んぜしめるといふ崇高なる根本眞理でありまする惟神の大道顯現を以て興亞理念の一大精神とすることは疑ありません。この理念に基きまして三國は曩に共同宣言におきまして、善隣共同の意圖を表示いたしたのでありますが、更に大東亞戰爭となりまするや、滿華兩國の御當局は我國に對應せられまして、直ちに一層緊密なる、不可分なる關係を明かにせられ、その提携の途を各國々の國民に徹底せられたのであります。今後日滿華三國に於ける興亞團體が眞にこの興亞の理念に徹し、よく小異を棄て大道に就き、國民みなそれ〴〵天與の分を守り、有無相通、相愛つ大道に立脚いたしまして、共榮圏の建設に邁進いたしますやう實踐挺身いたしますならば、必ずやこの聖戰を完遂し、恒久的平和の確保は斯くて俟つべきであると信ずるのであります。しかしてこの强力なる推進力を發揮せしむるにつきましては各團體とも更に理想的なる組織を持つことが必要でありませう。しかしながら只今現在の段階におきまして、順序といたしましてひと先づこの儘の組織において緊密な連絡協力に依つて成果を擧げることを適當なる措置と信じます。最後に重要な一項をつけ加へますならば、昨日今日に亙り、各代表御開陳の、細目に亙れる實施方法等に關する御意見を承り、洵に傾聽に値すべきもの多々あることを感じた次第でございます。これら尊重すべき御意見は今後の運動實施に際し十分に御參酌に相成りますやう希望致して、御提案の原案通りにて滿場の御贊成を得ますやうに切望する次第であります。

議案採擇 以上にて會議を終り議長（林銑十郎）本案の採擇を諮りしところ滿場一致可決せり。次に委員長（匝瑳胤次）會合共同決議案並に皇軍將兵に對する感謝決議案の朗讀をなし議長之れが採決を諮りしところ起立總員滿場一致可決す。

日滿華興亞團體會合共同決議

一、我等興亞團體は今後一層結束を鞏くし興亞の大業完遂に邁進す。

二、我等興亞團體は十二月八日を期し國民的興亞の大運動を各國內に展開す。

昭和十七年十月十五日

大日本興亞同盟
滿洲帝國協和會
中華民國東亞聯盟中國總會
中華民國新民會
蒙古興亞協力會

大日本帝國陸海軍ニ對スル感謝決議案

大日本帝國陸海軍將兵ハ萬難ヲ排シ勇戰敢鬪冱寒酷暑萬里ノ異域ニアリテ能ク大瀛ニ將タ山險ニ赫々タル戰果ヲ收ム、作戰ノ雄大策機宜、勇武比ナク今ヤ米英ノ東亞侵略據點ヲ悉ク擊摧シ之ヲ確保セリ。

茲ニ吾等興亞團體ハ大日本帝國陸海軍將兵ノ偉勳ヲ頌シ愈々其ノ威武ヲ發揚シ以テ大東亞戰爭完遂ノ速カナランコトヲ祈リ併セテ戰歿將兵諸士ノ英靈ニ對シ深甚ナル哀悼ノ意ヲ表シ戰傷病將兵諸士ニ對シ敦厚ナル同情ノ悃誠ヲ致ス。

議長閉會挨拶（林銑十郎大將）

閉會に先立ち一言御挨拶を申述べます。二日間に亙る會議におきまして各團體を代表せられました委員諸君の洵に御熱心なる御努力に依り、興亞運動の爲に多大の成果を擧げましたことは、主催者として衷心感謝すると同時にこれが大東亞戰爭完遂に甚大なる效果を齎すものと確信いたしまして、將來一層提携を密にし、相俱に興亞運動實踐に挺身敢鬪するものであります。これをもちまして閉會といたします。

第四日　經過記錄

十六日正午　大東亞會館會場に於て大政翼賛會主催による興亞團體代表歡迎午餐會を開催、主賓側張協和會、林東亞聯盟、黃新民會、吉爾興亞協力會等各代表並に來賓として林興亞同盟總裁、同松井、高橋、水野副總裁、阿部信行大將、主催者側より安藤副總裁、後藤事務總長、永井興亞局長他各局部長出席、安藤翼賛會副總裁より歡迎慰勞の挨拶ありたるに對し本同盟林總裁より謝辭を述べ一同更に懇談を重ね**午後一時**散會せり。

午後一時　東寶劇場に於て本同盟主催による日滿華興亞團體會合を記念せる「興亞の集ひ」を開催、一般會衆會場外にまであふれ極めて盛況を見たり。先づ本同盟企畫局部長匝瑳胤次少將司會者となり開會を述べ全員起立國民儀禮をなす、次いで本同盟總裁林銑十郎大將の挨拶あり、續いて協和會張煥相、東亞聯盟林柏生、新民會黃復生、興亞協力會吉爾嘎朗氏等の烈々火の如き熱辯ありて會衆に多大の感銘を與へ第一部の代表挨拶を終る。續いて第二部に入り東寶管絃樂團の伴奏にて「亞細亞の青雲」「興亞行進曲」「亞細亞の友」等の獨唱又は合唱あり、第三部には東寶舞踊隊の絢爛たる興亞の踊「民族舞踊」十六景が繰展げられ會場を埋めつくして會衆と共に各代表も熱心に觀覽し同四時閉會せり。引續き**午後六時**より歌舞伎座に觀劇會を催し羽左衛門、幸四郎、仁左衛門、宗十郎等の日本獨自の古典藝術を滿喫して同九時半本大會**最終**の日程を終る。

大政翼賛會主催歡迎慰勞午餐會席上挨拶

大政翼賛會副總裁　**安藤紀三郎**

大日本興亞同盟主催の下に目下開催中の日滿華三國の興亞團體懇談會に御列席の各位に對し我が大政翼賛會に於きまして聊か御慰勞の意を表し且つ御高話を拜聽致度玆に御招き申上げました處、皆樣には連日の御會合にて御疲れの中にも拘らず斯く多數御來駕の榮を得ましたことは主催者として洵に光榮に存ずる所でありまして厚く御禮を申上げます。

御會同の皆樣に於かれましては遠路はるばる御來訪下さいまして親しく我が日本の興亞團體の皆樣と「日滿華共同宣言の具體化のための運動方策並に興亞運動の徹底化に對する諸問題」について終始和氣靄々の裡に御熱心なる熟議懇談を遂げられましたことは誠に欣快の至に堪へない次第でありますが、その成果は必ず著しいものがあつたことゝ信じます。

御承知の通り「日滿華三國の共同宣言」こそ大東亞建設の根幹をなすものでありまして政治的にも軍事的にもまた經濟的にも、最も緊密なる關係にある三國が各々その本然の特質を尊重しつゝ一德一心同甘共苦善隣として國民的にも相提携し愈々全力を擧げて興亞の大事業に邁進すべきことは固より多言を要せざる所であります。

今や我が國はその自存自衛と東亞永遠の平和確立との爲に敢然起つて多年東亞の天地に侵略の魔手を縱にせる米英兩國を徹底的に擊碎すべく正義の刃を揮つてゐるのでありますが、この事は我が肇國の大理想でありまして、「萬邦をして各々其の所を得しめ兆民をして悉く其の堵に安んぜしめんとし給ふ」皇謨であります。從て彼の米英流の個人主義の戰爭と

根本的に其の精神を異にするものであります。

幸に御稜威によりまして開戰以來我陸海軍は赫々たる大戰果を收め、これと雁行して雄大なる建設の巨歩を進めつゝありますが、銃後に在つても一億一心國家の總力を結集し、必勝不敗の體制を確立して邁進致して居りますから、勿論最後の勝利我にあることは信じて疑ひませんが、大東亞戰爭の前途は實に遼遠でありまして愈々持久戰、長期戰の相貌を表はして參つたのであります。吾々は眞に不退轉の決意を固めて飽迄も此の戰爭を勝ち拔き米英思想を完全に擊滅して以て大東亞建設の大使命を完成致さねばならぬのであります。

申すまでもなく日滿華三國の道義の上に結ばれたる搖ぎなき固き提携と協力こそは實に大東亞戰爭を完遂し最後の勝利を獲得する上に絕對必要の條件であります。この意味に於きまして三國興亞團體の今後の活躍に待つ所極めて大なるものがあります。私は此の機會に於て我日本に於ける國民組織、國民運動の中核體たる大政翼賛會と致しまして特に大東亞戰爭以來御協力になりました皆樣に對しまして衷心より感謝の意を表しますると同時に自今一層大東亞共榮圈建設のためにお互に提携協力せんことを期待して已まない次第であります。

尙ほ滿洲、中華兩國の皆樣には出來得る限り我が國銃後の諸設備諸機關等を精細に御視察になり又同時に我が銃後國民が如何に潑溂たる意氣と綽々たる餘裕とを以てこの大東亞戰爭に對處致して居るかといふことを具に御覽頂きたいと希望するのであります。本日は折角お招き申上げましたが時局柄充分の御歡待も出來得ませず又席次其他不行屆の多いことは幾重にも御諒恕を願ひまして、ゆるゆる御懇談の程を御願ひ申上げる次第であります。

玆に謹んで皆樣方の御健康を祝しまして御挨拶を終ります。

日滿華『興亞の集ひ』（第一部）

挨　拶

大日本興亞同盟總裁　林　銑　十　郎

過日來數日に亙りまして、大日本興亞同盟の主催によつてアジアに於ける著名なる興亞團體の各代表が集まられまして、興亞に關する各種の問題を協議檢討致し、將來共に相携へて興亞の事業に邁進することを約束せられましたことを玆に皆樣に御報告致し、また國家のために慶賀に堪へぬ次第と存ずるのであります。

今日玆にお集りを願ひましたのは只今申しました各興亞團體の代表諸君、並に興亞に關して熱烈なる共鳴をお持ち下さつて居る皆樣方をここに御招待申した次第でありまして、このわれ〳〵の「興亞の集ひ」が聊かにても遠來の代表諸君の御慰安になり、また多數參會諸君のために、興亞の觀念を一層喚起するのよすがともなりましたならば、主催者私共の洵に光榮とする所でございます。甚だ簡單ながら開會に先立ちまして一言以て御挨拶と致します。

挨　拶

滿洲帝國協和會代表　張　煥　相

滿場の皆樣、私は只今御紹介を受けました滿洲帝國協和會代表張煥相でございます。本日は大日本興亞同盟のお骨折りによりまして、この和やかな「興亞の集ひ」が催されることになりまして、親しく皆樣へ御挨拶申上げることを得まするのは洵に光榮の至りに存ずる次第でございます。

この十三日以來、先程林總裁閣下が仰せになりました如く、興亞諸團體が大東亞會館で會合、懇談を重ねて參りましたが、一般の皆樣方におかれましても勿論新聞紙等で先刻來御承知のことゝ存じて居ります。今回の會合は第一回でありますにも拘らず、全く心おきなく、腹の底から各自の思つてゐることを吐露し盡しまして、お互に完全にその意思が通じたのであります。この上はたゞもう堅く、しつかりと手を握り合ひまして、興亞運動へ總進軍を始めるばかりになつたのでございます。洵に御同慶に堪へません。

隨ひまして、この舞臺から私は最早再び興亞理念がどうであるとか、興亞運動を如何にして展開すべきやなどといふ固苦しい論議を引續き皆樣に押しつける氣持はございませんから、この點は御安心を願

ひたいと思ひます。さればと申しましても本日の番組は三部に組まれて居るやうでございますので絢爛たる第二部、第三部の方に皆様方の頭が先走りされてしまつて、私のこれから申上げることがお耳に屆かんといふやうなことになつても勿論困るのでございます。それに私の住居は滿洲國新京でございますから、皆様とさう度々お目にかゝるといふ譯に參りません。袖すり合ふも他生の縁といふことがあるではございませんか。私に取つては今日のこの機會こそ實に千載一遇とも申すべきものでございますので、暫くの間お聽取りを願ひたいと思ひます。

偖てここで個人のことを申上げるのも如何かと存じますが、私は親邦大日本の陸軍士官學校の古い留學生でございます。隨ひまして親邦には早くから格別縁が深いのでございますが、今回の訪問は丁度今から五年前に司法大臣としてお訪ねして以來のことなのでございます。この十一日に下關へ上陸致しましてこの方、今日まで實は日本通を以て任じ、滿洲では相當幅を利かせて居りました私にとりまして、想像して來た以上に現實の日本といふものは餘りにも開きが大きいのでありまして、物心共に豊かなこの親邦を、全く夢ではなからうかと時々腰のあたりを抓つて見たくらゐでございます。

元來私はこの風貌からもお察しがつきます如く、あまりお世辭が得意でありません。また思つてもゐないことを口に出せるやうな性格でもございません。しかも皆さん、この物資豊富な親邦、通りすがりの店舗を見てさへ、その物資の豊富なのに先づ以て私は驚かされて居ります。皆さん、この地球上人類

始まつて以來の大掛りな大戰爭を悠々と爲し續けて行く親邦日本であります。何と薄氣味の悪いくらゐの底力ではありませんか。汽車の車窓に映ずる風景は朝鮮以來何處もかしこも、稻に吹く風が黄金の波を立たせて居ります。しかも農村に、都會に、働く人々は何れも活氣溢れて居ります。その上朗かであります。嗚呼皆さん我來たり矣、見たり矣、これでこそ必ず勝てると、眞底より心强さと安堵を覺えた次第であります。私は十二日東京に着きまして、早速明治神宮と靖國神社に參拜致しました。あの清淨な玉砂利を踏みながら、引つきりなしに續いて神前に額づく老幼男女のあの敬虔さ、しかもあの謙讓さ、これが大戰捷下の親邦の民草の姿であるかと、思はず知らず私は感銘の涙を催しました。これでこそ皇軍は强いのだと、自分で結論をつけたやうな次第であります。

次に御婦人の服裝やお化粧のことでありますが、私がこんな事柄に觸れますと、年寄のくせによく氣のつく奴だと笑はれては困ります。實のところ私の娘――年頃の娘でありますが、御地に留學させてありますので、自然さういふことに氣がつくのであります。これこそ戰時下日本の、皆様の精神を端的に表現するもので、全く非常な變り方であります。五年前とは打つて變つて、これだけでも戰時下日本女性の賴母しさを遺憾なく表現して居ります。勿論多勢の中には例外の方もございませう。本日お集りの女性の方にはさういふ例外はないとは信じますが、假にありましても、それは「今からでも遲くない」組であらうと存じます。私はこのやうに緊張した東京ならば安心して娘をお委せ出來ると、大いに

喜んで居る次第でございます。偖て親邦へ先程も申上げました通り五年振りで訪ねて參りまして、よく昔のお友達に會ひますが、その時に「どうです閣下、東京は變りましたでせう、日本は變つたでせう」と訊かれるのでありますが、全く以上のやうな堅實な變り方に私は嬉しい戸惑ひをしてゐると述懷して居る次第であります。私はこんなにも賴母しい親邦の實情をこの眼で見、この耳で聞いた儘をこよなき土産として滿洲に歸れることを何よりの收穫と存じて居ります。

次に、今までのお話の中において私は日本のことを親邦々々と呼んで參りました。これは滿洲國にとつて一德一心の切つても切れない關係にあるのでありまして、丁度家でいひますと家長と家族とが一家を成してゐる、その如く精神一體であるといふやうな關係において、特に大日本のことを親邦と、畏れ多くも滿洲帝國皇帝陛下が詔書の中に宣はせられて居るのであります。即ち「明々之鑒如親　穆々之愛如子」と拜するのであります。

偖て親邦日本について今まで話を續けて參りましたが、ここでどうしても自國滿洲の事について最後にお聽き願はねばなりません。私は御承知の通り滿洲において親邦の日系の皆樣と一緒に仕事をやつて居るのでありますが、よく宴會の時など日系の方が歌はれる歌の中で「來いと云うたとて行かりよか滿洲へ、滿洲にや馬賊が脅かす」といふ佐渡おけさの文句を覺えて居りますが、建國十年の滿洲には最早これは昔語りと化して居りまして、治安工作から産業開發、經濟建設、文化の向上等々、國防國家として著々成長して參りました。今年は御承知の通り慶祝行事が何かと打ち續き、日本の朝野からも直接間接に心から慶祝して頂いたのでありますが、一般の皆樣にも、もつと〱北への關心を深めて戴きたい。これはどんなに深めて戴いても決して過ぎるといふことはないのであります。話の又聞きのしかも笑ひ話かも知れませんが、滿洲では今背廣を着てゐる方は非常に珍らしい。すべてがこの協和服であります。ところで、協和會といふのはその協和服をつくる會ださうな、かういふ話であります。滿洲帝國協和會もこれでは浮ばれません。ことほど左樣に、滿洲への認識といふものは一般に不十分でございます。彼の北入南物といひ、北邊の鎭護といふことも、たゞお題目を並べただけでは始まりません。ここにお集りの方々は東京市民中のいはゆる指導層の方々と存じます。願くはこの機會に北邊認識の徹底と隨つて滿洲國への關心を一層深めていたゞいて、一般大衆への啓蒙につきお先棒を擔いでいたゞきたいのでございます。

滿洲國における國民訓練であるとか、或は國民運動の一切は民族の如何を問はず、日系も勿論含めまして擧げて協和會が責任を持つて居るのであります。興亞運動に四千三百萬の複合民族國民を總動員致しまして大東亞聖戰完勝に總力を結集して親邦の期待に副ふやう大車輪であります。滿洲が立派に育つか、或は失敗するかゝいふことは大東亞共榮圈建設の大きな事業の將來を卜するものであることを絕對にお忘れにならぬやうにお願ひ致したいのであります。

今や天高く馬肥ゆる洵に惠まれたる季節でございます。天下の紅葉も間もないことでございませう。この秋、この平和な雰圍氣の中で、この一家團欒にも似た「興亞の集ひ」になごむことの出來まする吾等の幸福をもう一度嚙みしめませう。同じ首都でありましても、彼の英國のロンドンをお考へ下さい、何と極端な對蹠的現象ではありませんか。親邦の皆樣、それにつけても八紘爲宇の皇謨に打たれ、靖國の護國の英靈に感謝し、死すともこの聖業を達成致さねばならぬと存ずるのであります。今こそ親邦を中心として、大東亞十億のアジア民族はしつかりと手を握つて起ち上らうではありませんか。

最後に滿場の皆樣の御健康をお祈り致し、主催者大日本興亞同盟を初め、日華興亞諸團體の隆昌を祈念致しまして私の御挨拶を終ります。

挨拶

中華民國東亞聯盟中國總會代表　林柏生

友邦の國民諸君、この度興亞團體の懇談會に出席致しまして、これが終りまして近く皆樣とお別れすることになりましたので、最後に皆樣に對するお別れの言葉と致しまして二三御挨拶を述べさせて頂かうと思ふのであります。

第一に皆樣に申上げたいことはこの數日來、中國、日本、滿洲の三國の興亞の同志が集まりまして一生懸命に討論し愼重に決議したのでありますが、これは抑々何を目標としたか、たつた一つであります。第二のものはありません。卽ちそれを一言でいひますと「興亞」といふ二字でありました。われわれの決議の結果も、意義も、すべてこの「興亞」に歸して居るのみであります。

次に申上げたいことは、大東亞戰爭に對しましてわが中國と致しましては未だ參戰國の一員ではないのでありますけれども、大東亞戰爭の勝利を祈り、完遂を祈るといふ點において、四億の國民の決意は皆さんと變らないことを信じます。如何なる苦痛がありましても、われ〳〵は必ずや諸君と共にこれを背負ひます。如何なる重大な義務と雖もわれ〳〵は必ず皆さんと共に分擔する決心でございます。

たゞ玆にわれ〳〵と致しまして痛心に堪へないことは、わが國の一部にはまだ重慶政權といふものが存立して居りまして、一部分の者は重慶に據り、米英の走狗となつてゐることであります。これが和平運動を障碍し、同時にまた大東亞戰爭を妨害してゐることに對しましてはわれ〳〵は實に遺憾千萬とし、申譯なく思つて居る次第でございます。但しわれ〳〵は大東亞戰爭に對して必勝の信念を持つてゐると同じやうに、われ〳〵はまた只今やつて居ります所の和平運動に對しましても、必ずや成功するといふ必成の信念を持つてゐるのであります。

われ〳〵は必ずや最短の期間を以て蔣介石を打倒し、重慶政權を擊滅する決心であります。われ〳〵

はまた最短の期間において最大なる努力を拂ひ、以て中國の和平統一を圖り、全國の力を擧げて友邦日本を支持する決心であるのであります。

われ〳〵は必ずやこの度の事變を解決するやうに努力致します。而して永遠にこのやうな不幸な事變を二度と繰返へさないやうに努力する決心であります。

大東亞戰爭は必ず日本の勝利となり、これによつて米英の勢力をわが東亞の天地から驅逐することが出來ると信じますが、同時にわれ〳〵は今後永遠にわたつて米英の勢力がわが東亞の天地に再び來ることのないやうに努力する決心であります。

第三の言葉と致しまして皆樣に申上げたいことは過去十數日來、私は興亞同盟主催の會議に出席する以外に、お國の青少年の組織、訓練狀況視察のため、いろ〳〵と各所を視察させて頂いたのでありますが、如何なる所に至りましても、私は友邦日本の國民の中には最高度の最も純潔な愛國心のあることを見出し、同時にその純潔なる心を以て、わが中華民國に對し多大の同情を有せらるゝといふ誠意を十分に私は酌取ることが出來たつもりであります。諸君は斯の如く、よく日本そのものを愛するが故に中國をも愛し、東亞をも愛することが出來るのだと、私は信じて疑はないのであります。このやうに諸君は日本を愛し、東亞を愛し、中國を愛する。この心がやがて中國の青年を愛するといふ心になることを私は知つたのであります。

日本の國民諸君よ。われ〳〵は必ずやこの東亞の青年を團結させまして——自分の國を愛し、東亞を愛し、隣りの國を愛するといふやうな純潔な愛國心を有する東亞の青年を團結致させまして、米英を打倒し、同時に東亞を保衞するために邁進することを望んで已まないのであります。

私は明日東京を離れまして皆樣とお別れしなければならないのでありますが、しかし私の身體は皆樣とお別れすることがありましても、われ〳〵の國を愛し、東亞を愛する精神は必ずや永遠に、如何なる時、如何なる場合にも一緒になるといふことを私は信ずるのであります。

挨拶

中華民國新民會代表　黃復生

この度、われ〳〵中華民國新民會代表が興亞懇談會に參加するために貴國に參りまして、連日いろいろと討議致したのでありますが、得る所はほかではありません。即ちわれ〳〵東亞民族の今後進むべき道はたつた一つあるのみであります。それはほかならぬわれ〳〵東亞民族は一環となつて共同奮鬪する。そしてわれ〳〵東亞民族は一環となつて戰ひ拔き、最後の勝利を獲得するといふことであります。

わが中華民國政府の方針と、國民の態度は只今林閣下が既に皆様に申上げました所でありますから、私は敢てここに申上げることを致しません。

ここ數日來、私は貴國滯在期間中におきまして聞く所、見る所を申上げまするならば、貴國の國民は畏れ多くも　天皇陛下と共に一つの大きな家族を形成して居られることに深く敬意を拂ふ次第であります。而してこの度、この機會におきまして皆様と共に、貴國の最高の藝術殿堂において、藝術の粹を觀賞することを得まするることは、洵に私共の幸ひとして感謝に堪へない所であります。

最後に御列座の皆様方に對し、この度の御歡待に對して厚く御禮申上げますと同時に、主催者側の御心盡しに對しまして衷心感謝の意を表する次第でございます。

挨拶

蒙古興亞協力會代表　吉爾嘎朗

本日は滿場の多數の皆様にお目に懸りまして御挨拶の機會を得まするると共に、尙ほ又世界にも類のないこの東寶の文藝的なプログラムを皆様と一緒に席を並べて氣持よく觀覽させて頂きますことは、私共と致しまして洵に光榮と存じ、喜びに堪へない次第であります。

過去三日間に亙りまして、各方面の興亞團體代表が腹藏なく懇談を遂げ多大の成果を擧げ得ましたことを、私は皆さんと共に心からお喜びを申上げる次第でございます。尙ほ三日間緊張を續けました會合の後、今日かゝる和やかな御催しに與かり、氣骨を休ませて頂きますことは、洵に行き屆いた主催者側の御歡待と存じまして、厚く茲に御禮申上げる次第でございます。

この度貴國へ參りまして、大東亞戰下におきまする大日本の姿を眺めまするに、極めて緊張のうちにも餘裕綽々たるものがありまして、私共と致しまして甚だ心强さを感じまするると共に深く敬意を表する次第でございます。今回の會合はいま申しましたやうに多大の效果を收めたのでありますが、蒙古に歸りましたら、今回の決議の趣旨を體し、蒙古興亞運動の展開に一段の努力を拂ひまして、御厚意の一端に酬ひたいと存ずるのであります。

抑々興亞運動の方法は各地方々々、その特殊性に應じて適宜實施すると致しましても、大東亞共榮圏といふ大きな立場から申上げますならば、各地の團體は今後益々連絡を緊密に致し、心から融和して、國民の心を相結びつけ、相同和しなければならないと思ふのであります。斯く致しませんと、本當のわれ〳〵の目的である融和といふものは決して出來ないと存ずるのであります。今回の會合に參加致しました私共各地の代表はそれ〳〵その地に歸りました上、この連絡融和の點に特に留意を致し、十分これを一般に徹底せしむるやうに工作致したいといふ覺悟でございます。

折角このやうな和やかな會合に臨みまして、何等か柔かい、面白い蒙古のお土産話でも致すと宜しいのでありますが、時間その他の都合で十分お話の出來ないことを甚だ遺憾に存ずるのであります。世間にはとかく蒙古といふと何もない國ぢやないか、見渡す限り、一望の草原で、駱駝と羊などを放牧してゐる、それ以外は何もないのぢやないか、かういふ風に想像される方が可なり多いのではないかと私共は考へて居ります。併しながらわれ／＼蒙古には固い正しい精神と、正しい理念がある。また正義があるのであります。純朴なるわれ／＼蒙古と致しましてかゝる精神、かゝる理念、かゝる正義を以て何處までも／＼大日本帝國の指導の下に、誰が何といつても後を從いて參りたいと思ふのであります。どうか本日お集りの皆樣方にはこのわれ／＼の意のある所、われ／＼の赤誠の存する所を十分御諒解下さつて、今日ここにお集りの皆さんのみならず、他の御親類や、お友達の皆さんに、廣く／＼われ／＼の立場をお傳へ下さいますやうに、さうしてわれ／＼に十分なる御同情を持つて下さるならば、私共と致しまして幸ひこの上もないと存ずるのであります。

もう少しお土産話を申上げたいのですが、準備も十分に致して居りません。また私の言葉の不十分といふ點もありまして、思ふ存分のことを申上げ得ないことを甚だ遺憾に存じますが、これを以て私の御挨拶を終ることに致します。

(附錄) 日滿華興亞團體會合要綱

趣旨

一、皇國ニ於ケル興亞運動團體タル大日本興亞同盟主催ノ下ニ滿華ノ興亞團體ヲ招待シ披露ヲナスト共ニ今後ニ於ケル興亞運動ノ具體的展開ニ關シ懇談スルモノトス

一、開催日　昭和十七年十月中旬（十三、十四、十五日會合十六日「興亞ノ集ヒ」）

一、主催　大日本興亞同盟

一、參加人員　日本側五十名、滿洲國側（協和會）十五名、中南華（東亞聯盟）十五名、（新民會）十五名、蒙古（興亞協力會）五名

一、會合場ハ東京市トス

一、懇談ヲ統裁スルタメ座長ヲ置ク

一、座長ハ興亞同盟總裁之ニ當ル

一、懇談事項

（イ）日滿華共同宣言具體化ノタメノ運動方策

（ロ）興亞運動徹底ニ對スル組織ノ研究

二、經費

一、參加者ノ旅費及ビ宿泊料ハ各自ノ負擔トス

三、日程

第一日（十三日）

午前九時　宮城前集合

宮城遙拜　全員

明治神宮參拜　全員

靖國神社參拜　全員

正　午　各關係官廳、新聞社ニ挨拶訪問（代表）

午後一時　會　合（同　）

披露式（同　）

三國國家奏樂

主催者ノ挨拶

祝　辭

各代表挨拶

午後五時　座長ノ招宴（上野精養軒）

第二日（十四日）

午前九時　懇　談（大東亞會館）

懇談事項（イ）ニ對スル協議

正　午　午　餐（大東亞會館）

午後一時　見　學（海軍館・繪畫館）

午後五時　經濟八團體ノ招宴（帝國ホテル）

第三日（十五日）

午前九時　懇　談（大東亞會館）

懇談事項（ロ）ニ對スル協議

正　午　午　餐（大東亞會館）

午後一時　見　學（聖堂參拜、東京帝國大學）

午後三時半　東京府・市聯合園遊會（後樂園）

第四日（十六日）

午　前　自由行動

正　午　大政翼贊會主催歡迎午餐會（大東亞會館）

午後一時　日滿華「興亞ノ集ヒ」（東寶劇場）

午後六時　藝術觀覽（歌舞伎座）

第五日（十七日）

代表離京（自由行動）

以　上

日滿華興亞團體會合役職員氏名

主催者側委員

本同盟　總　裁　林　銑十郎

同　副總裁　水野錬太郎

同　同　松井　石根

同　同　高橋　三吉

同　理事長　山岡萬之助

同　副理事長　桑島　主計

同　幹　事　匝瑳　胤次

同　同　馬野　精一

同　同　長野　高一

役　員

本同盟（常務顧問）井田磐楠、遠藤柳作、太田耕造、葛生能久、永井柳太郎、坂西利八郎、宮田光雄、（同顧問）緒方竹虎、川島義之、正力松太郎、三木武吉、田中都吉、下村宏、三井清一郎、今井五介、中御門經民、八角三郎、金光庸夫、林仙之、（同審議員）赤間信義、岡部長景、弊原坦、高木陸郎、松室孝良・村川堅固、（同協議員）鵜澤聰明、大倉邦彥、中西敏憲、楢崎觀一、松島肇、水野梅曉・矢田部保吉、松本學、村瀨直養、（常務理事）池田弘、入江種矩、宇治田直義、岡野龍一、尾崎敬義、唐澤俊樹、下中彌三郎、津田靜枝、中山貞雄、中山蕃・藤田進、松井七夫、松本德明、中谷武世、（同理事）宇田尙、大島豐、勝本鼎一、菅沼周次郎

滿洲帝國協和會　中央本部委員參議府參議張煥相、同中央本部指導部長王子衡、同奉天省本部參事紀井一、同中央本部總務科長水上健治、同首都本部事務長舟田清一郎、同首都統監部主事竹下國雄、同中央錬成所輔導安敬之、同牡丹江省本部參事高守山、同錦州省錦縣本部事務長胡躍氏、同首都本部部員高川幸一

東亞聯盟中國總會　國民政府宣傳部長林柏生、同新國民運動促進委員會設計委員鍾任壽、同廣州分會（廣東）常務理事林朝暉、同廣州分會青年團幹部訓練班主任陳顯謨、東亞聯盟中國總會祕書華漢光、同總幹事許傷生、同湖北省分會常務委員陳維政、同北

京東亞聯盟月刊編輯長張景恒、同南京分會常務理事張克昌、同南京分會第四科長曹實琳、同上海分會秘書汪勵吾、同上海分會秘書伍治、同蘇州東聯指導委員會副主任委員林春暉、同蘇淮特區分會常務理事闞博彥、同蘇淮特區分會指導副局長劉捷

中華民國新民會　中央總會人事局長黃復生、同山西省總會事務部長周敦信、同中央總會宣傳局第一科長張子鈞、同第三科長曲傳政、同山東省總會組織處長劉文圃、同青島市總會宣傳處長胡溢棕、同河北省總會總務處焦錦庭、同北京市總會宣傳處林謙、同天津市總會宣傳處張天培、同山西省總會秘書馬應福、同中央總會組織部李德箴、同中央總會監察部副部長波多江種一、同中央總會參事中務保二、同山東省總參事朝倉繁一、山西省總會參事後藤邦男、同眞定道總會首席參事内村一三、同山西省總會參事樋口忠

蒙古興亞協力會　蒙古聯合自治政府特任參議吉爾嘎朗、察南政廳長官陳玉銘、同教委員會委員鄭仁齋、蒙古聯合自治政府最高檢察廳次長隈元孝道、張家口日本居留民團長森岡正平

關東州興亞奉公聯盟副會長岩井勘六、同鍊成部長榊原喜久治

◇　◇　◇

昭和十七年十一月二十五日印刷
昭和十七年十二月　一　日發行　（**非賣品**）

編輯兼發行人　東京市麴町區霞ケ關三ノ一　大日本興亞同盟　山上祖

印刷人　東京市京橋區新富町二ノ十九　伊藤憲逸

印刷所　大東印刷株式會社

發行所　東京市麴町區霞ケ關三ノ一　大日本興亞同盟